

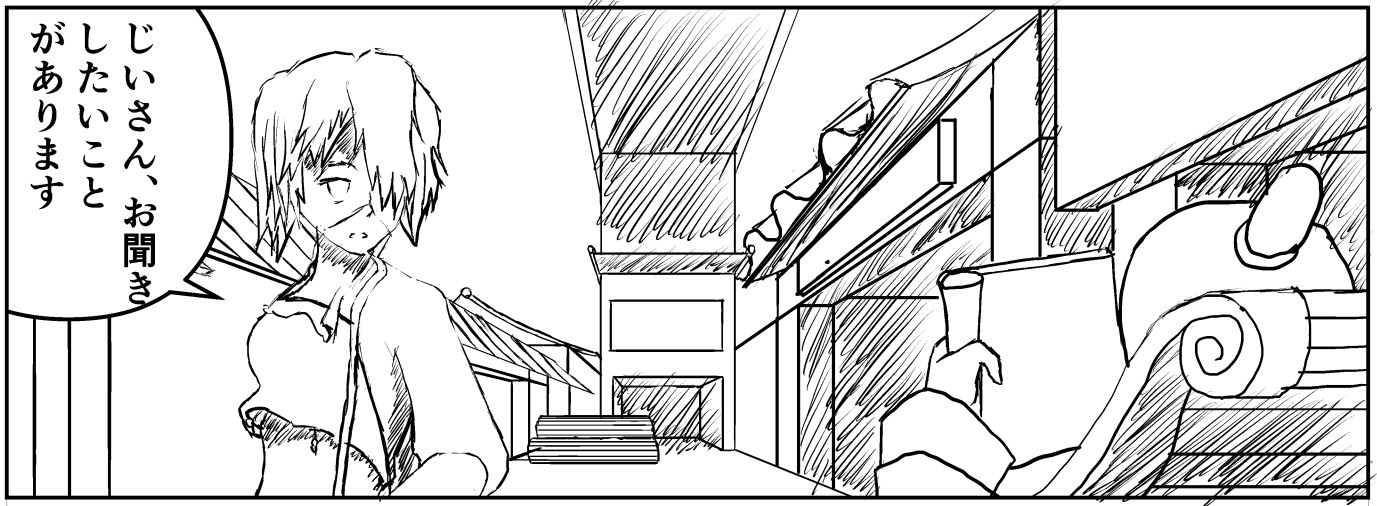
北魚鎮は国境から
60里のところ
にある。

外国人旅行者が
よく訪れる

両国は友好国である
ため、国境通過は非常
に寛大である。だから

誰がここに現れ
てもおかしく
ない！



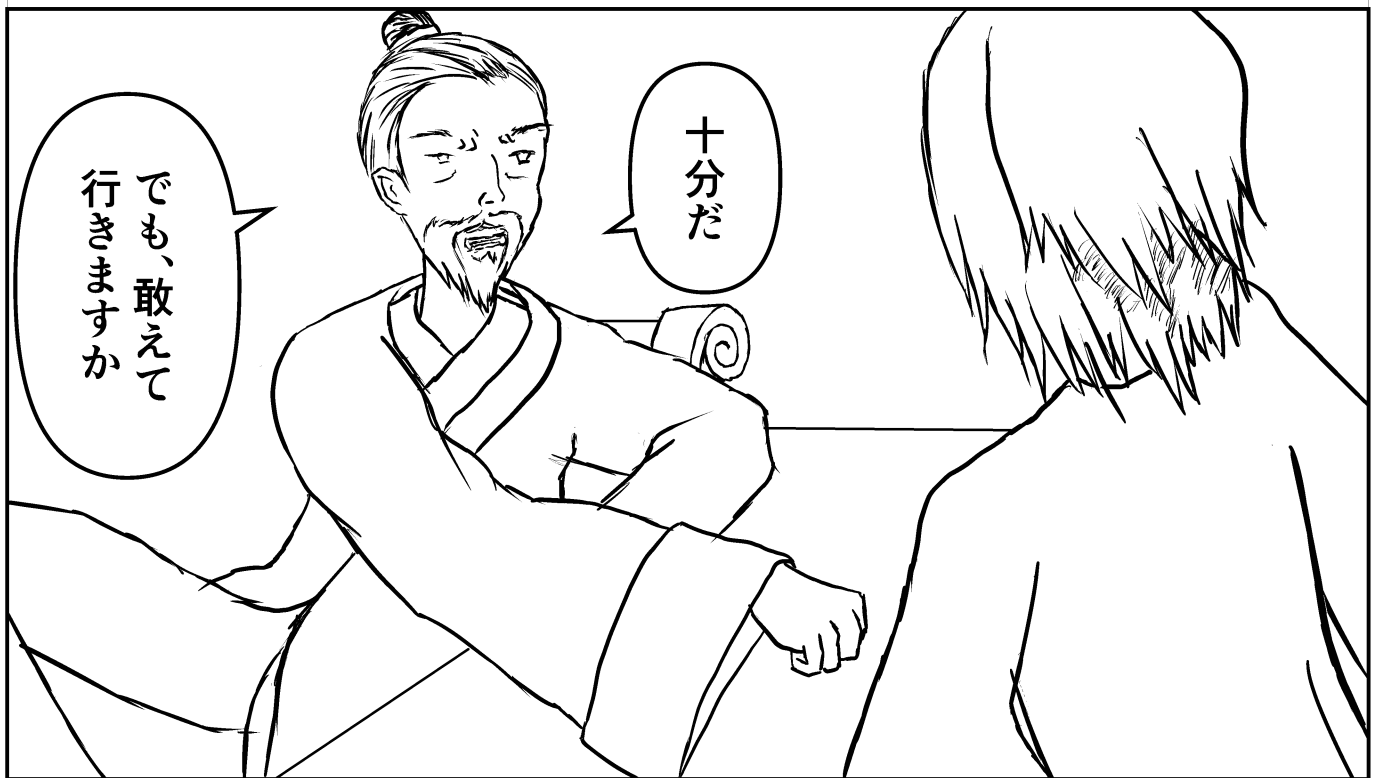
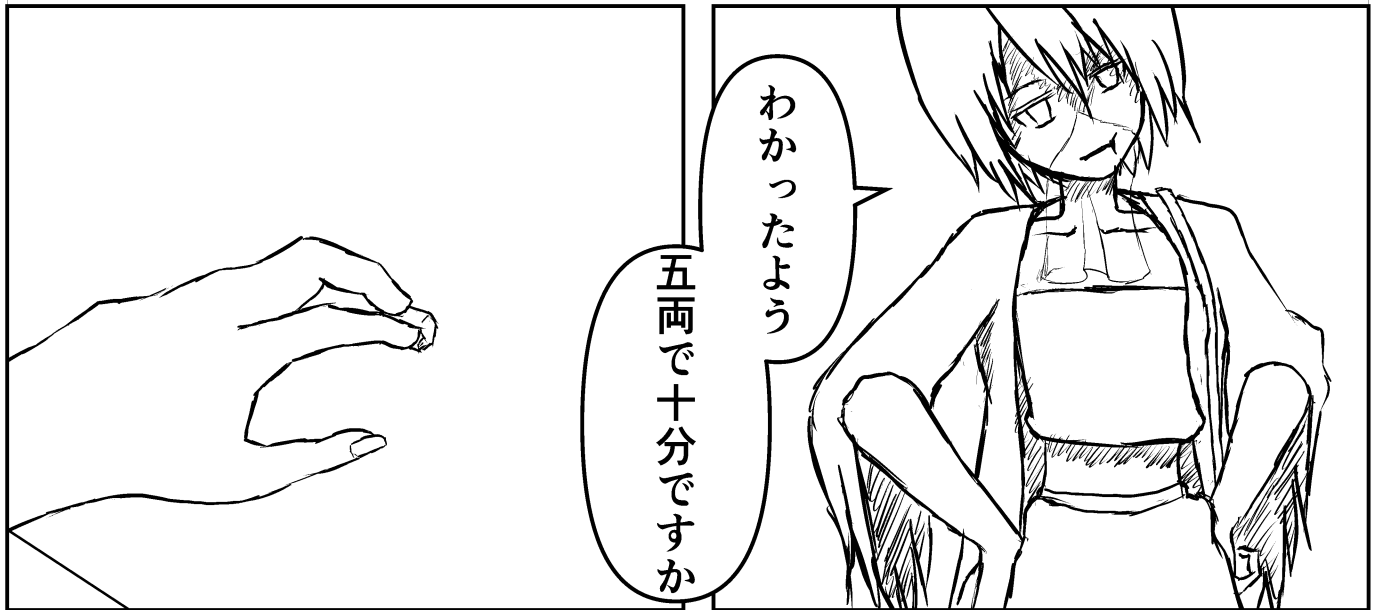


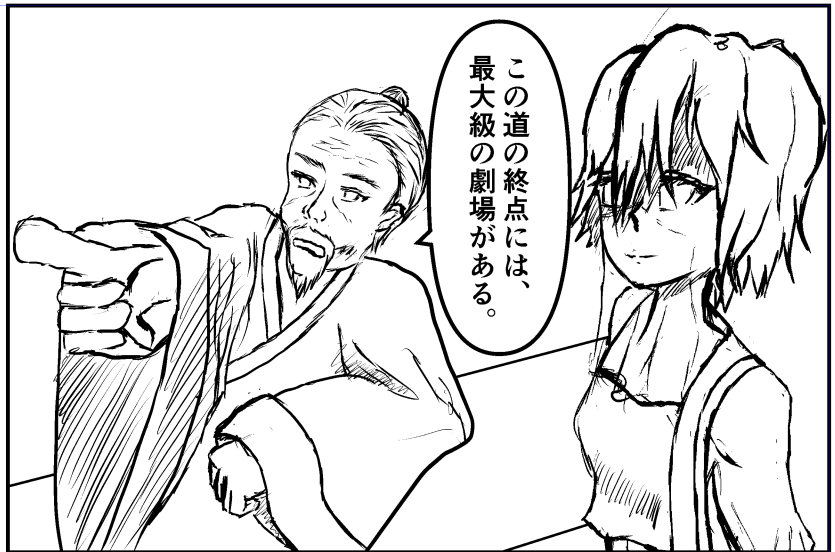
じいさん、お聞き
したいこと
があります

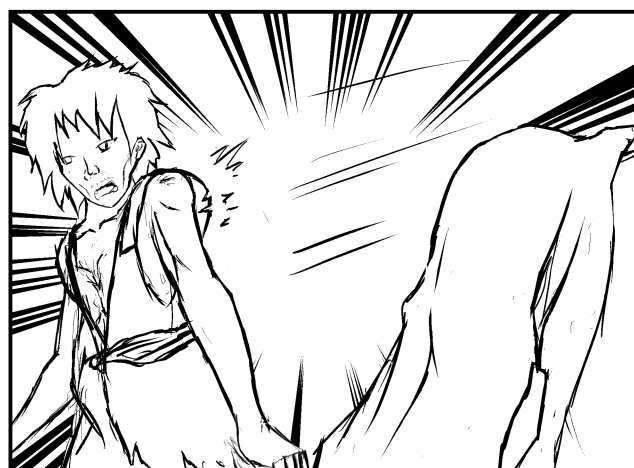
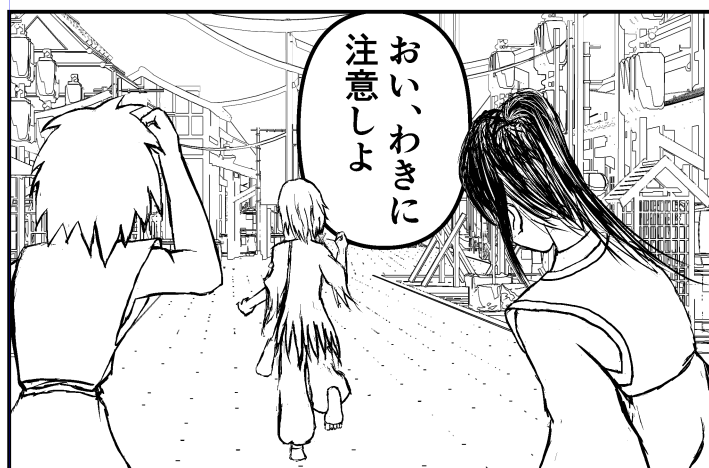
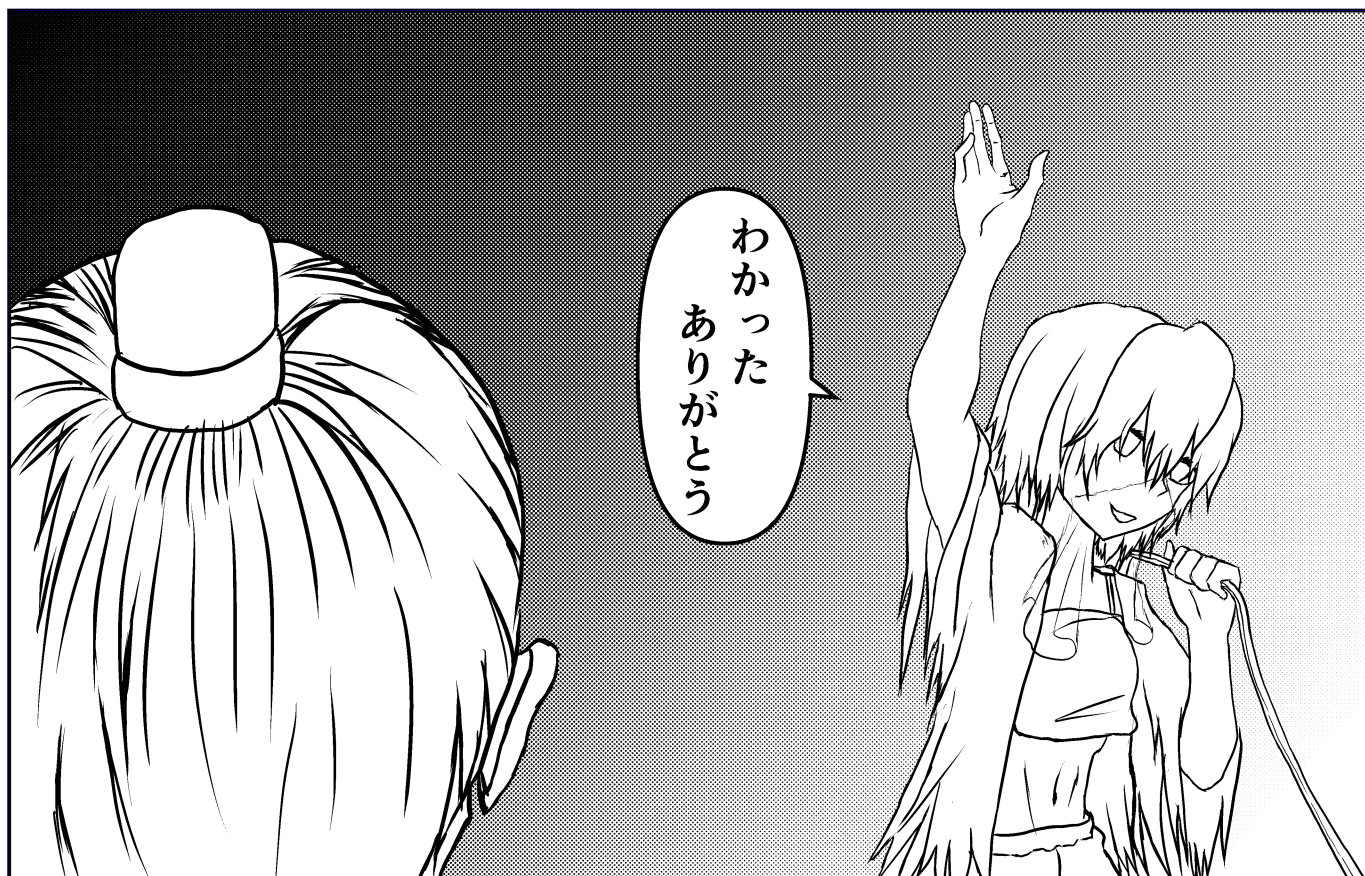


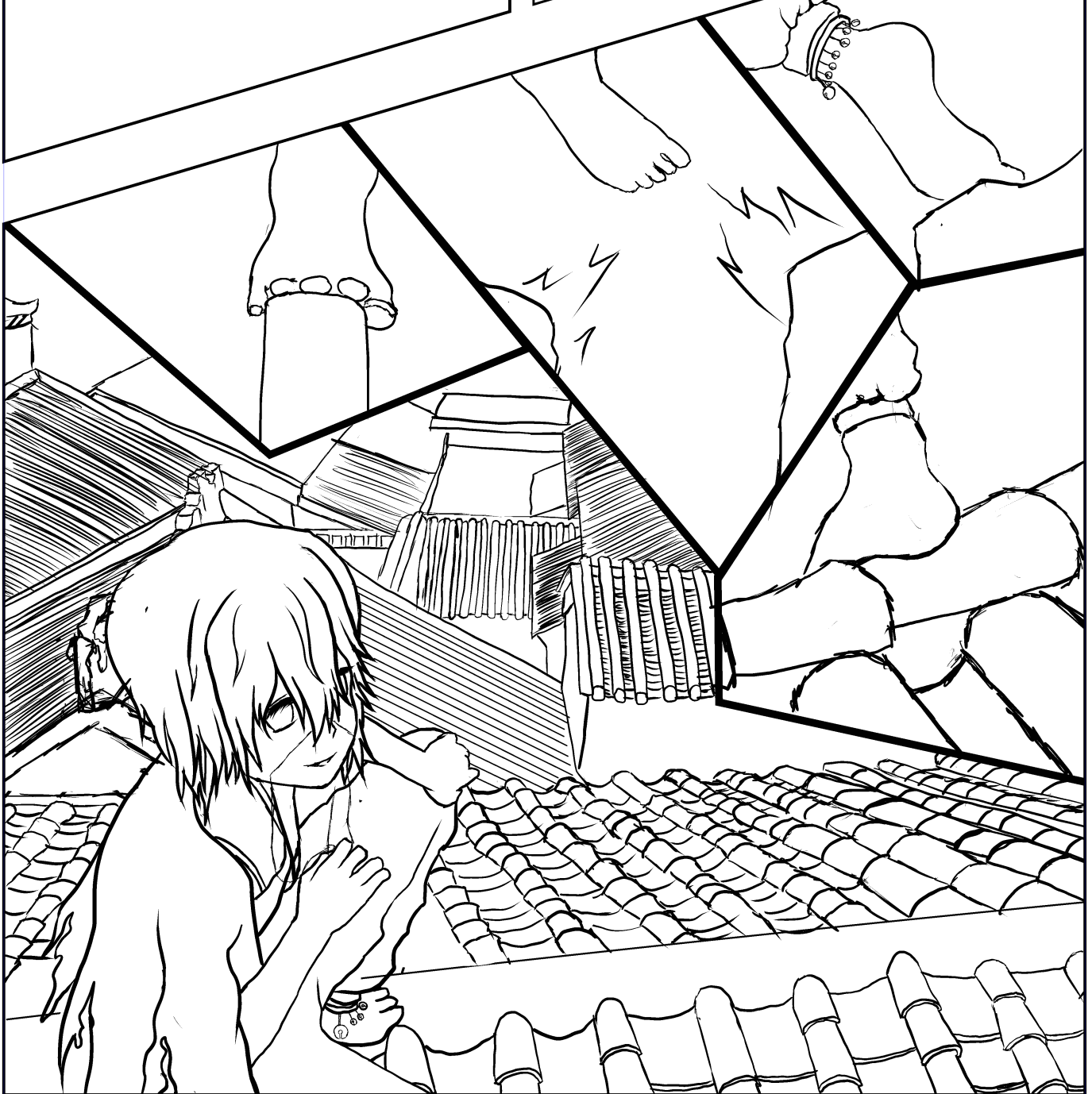
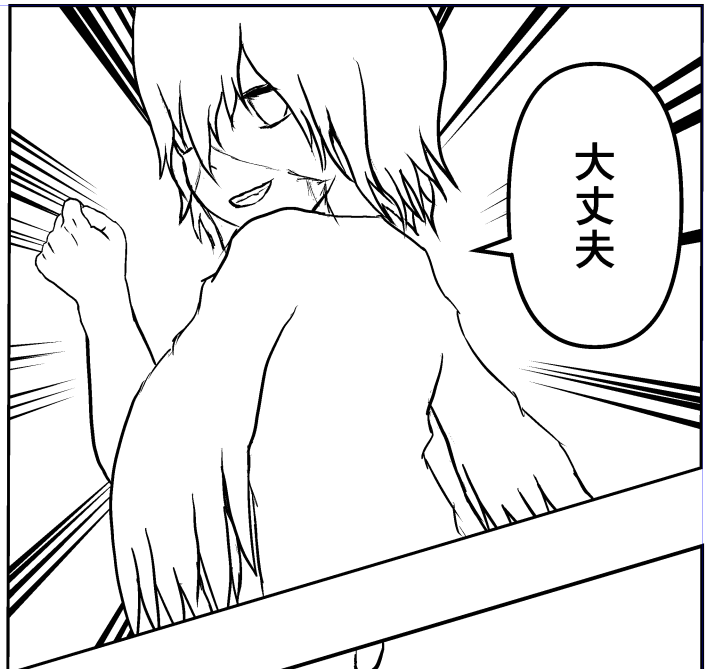
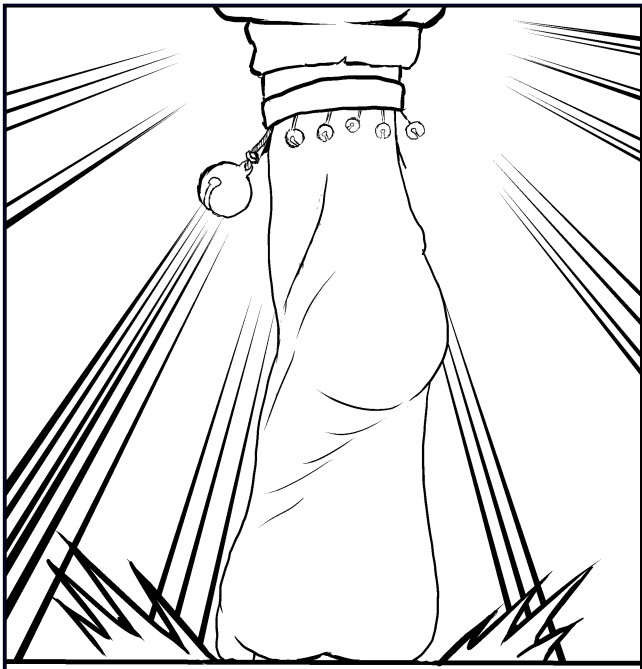
最近、
どんな面白いこと
があった？

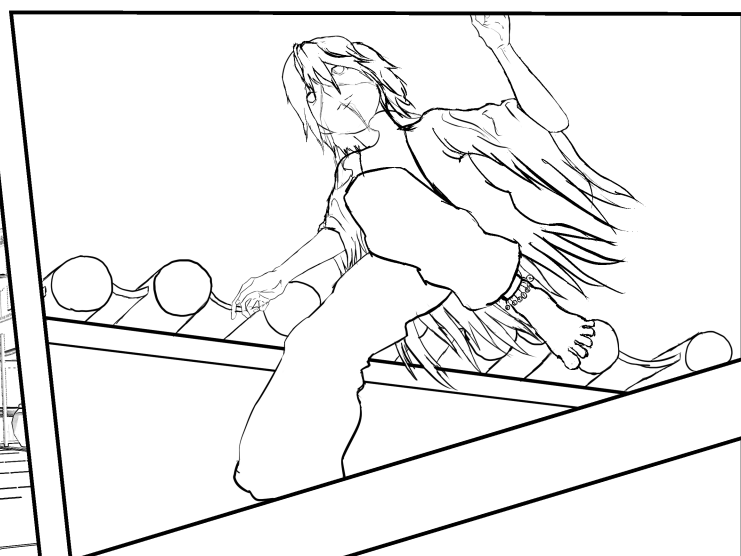
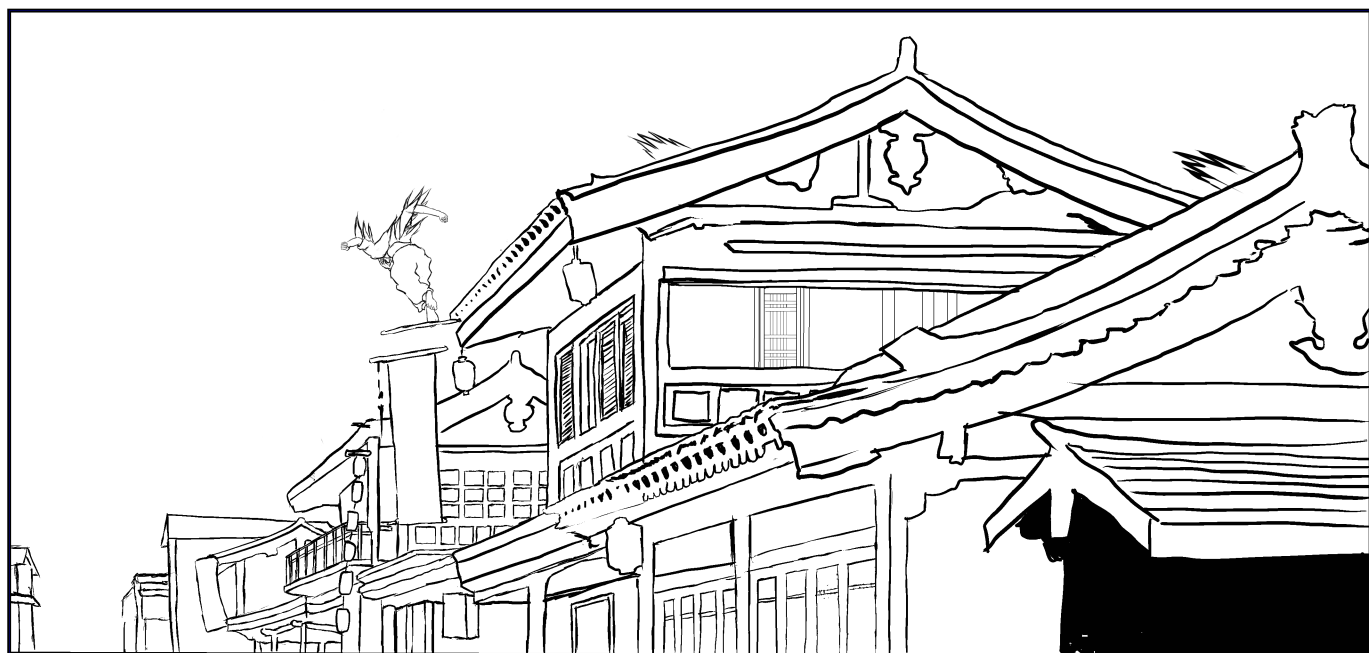
アリヤ
西域からきたの
お金持ちの娘
退屈しの義に密
がにサーカフを
追って中原へ
向かった

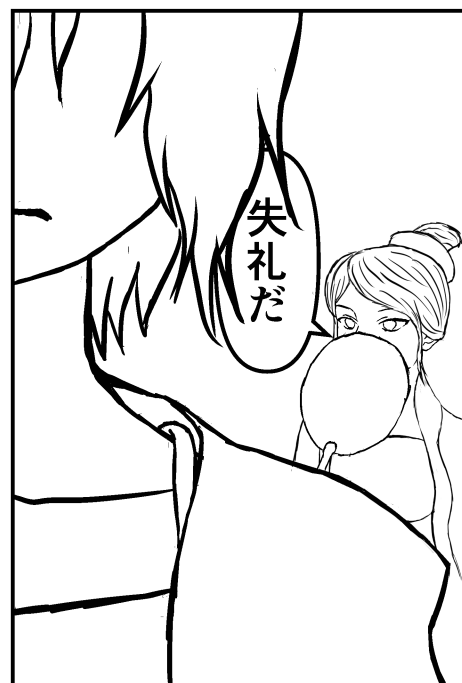
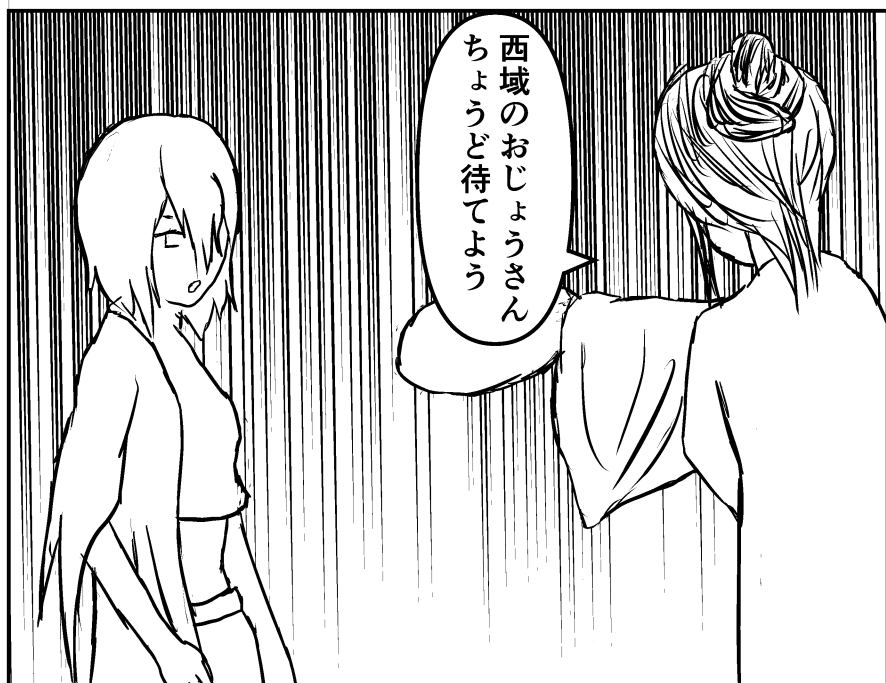
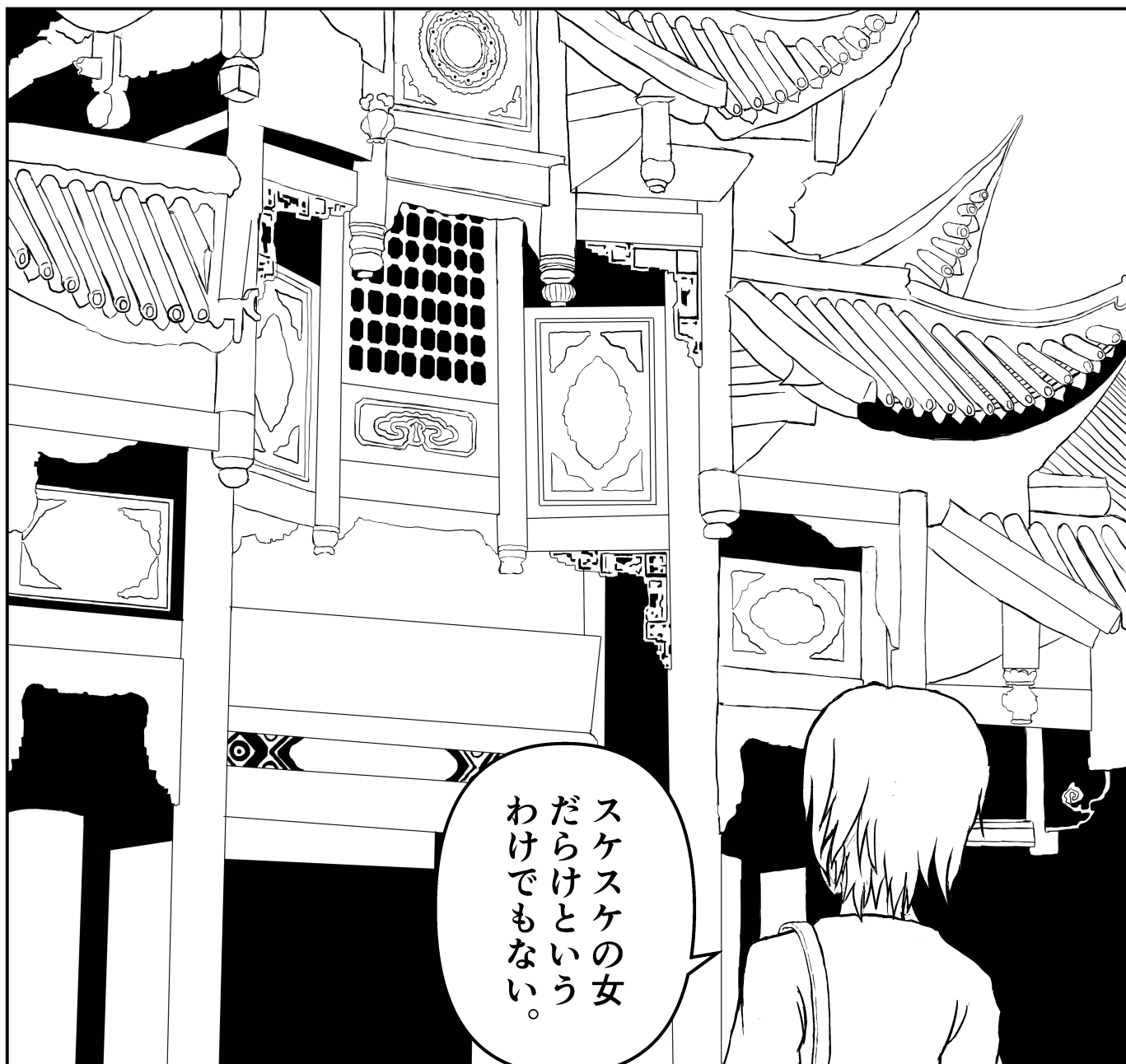


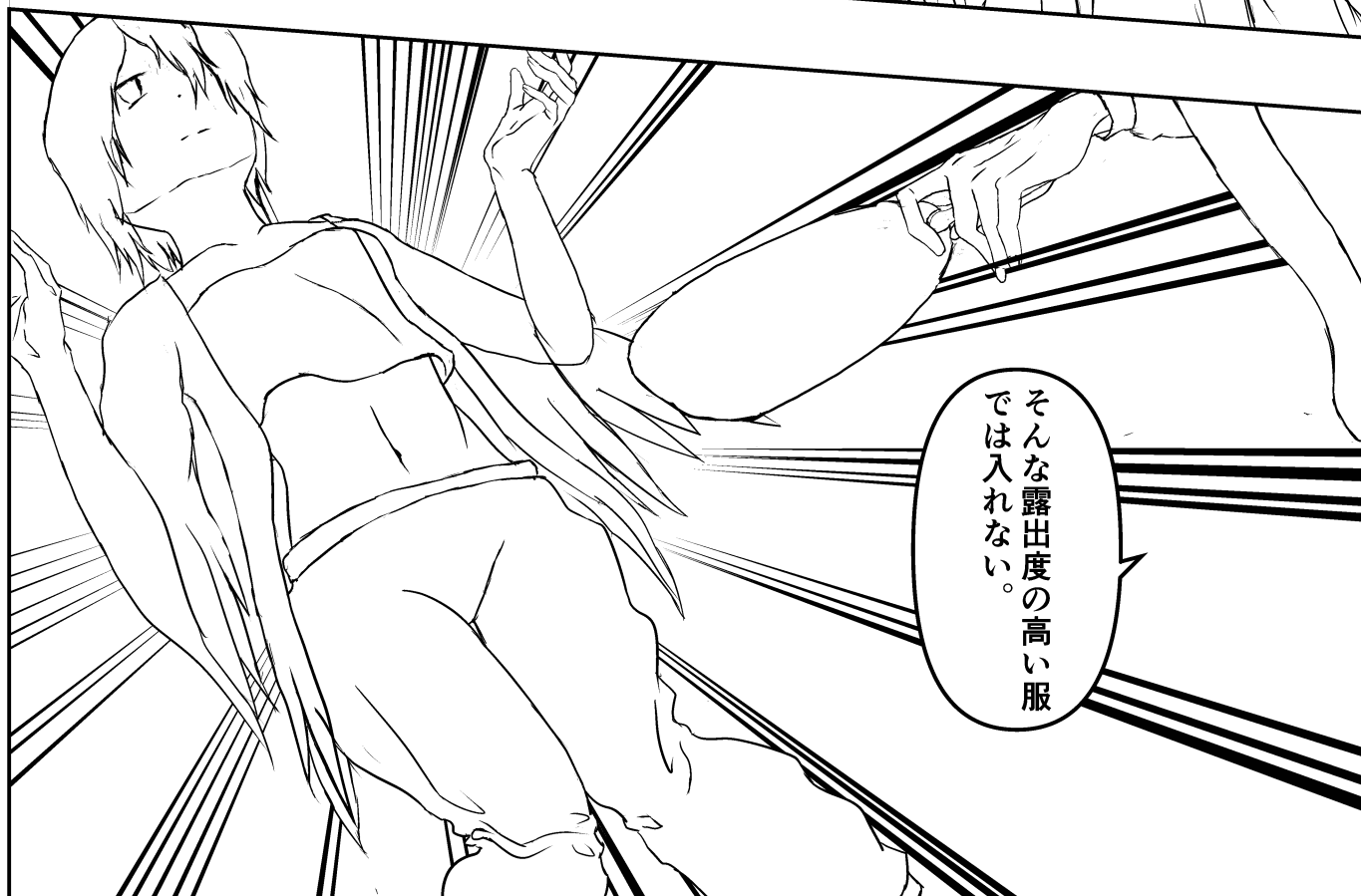
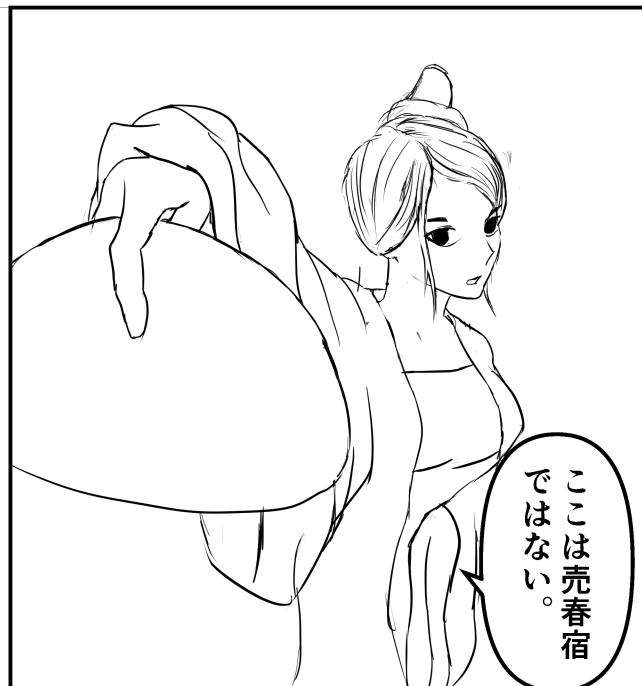


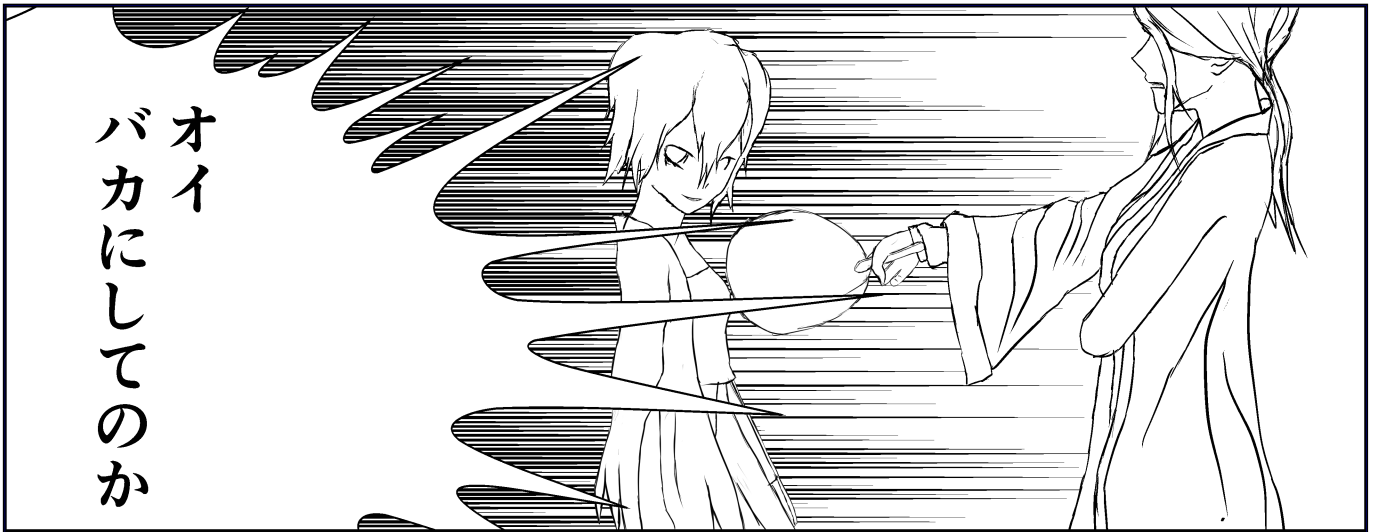












オイ
バカにしてのか



なぜ明日日出発なんだ
何か企んでいるんだろう。



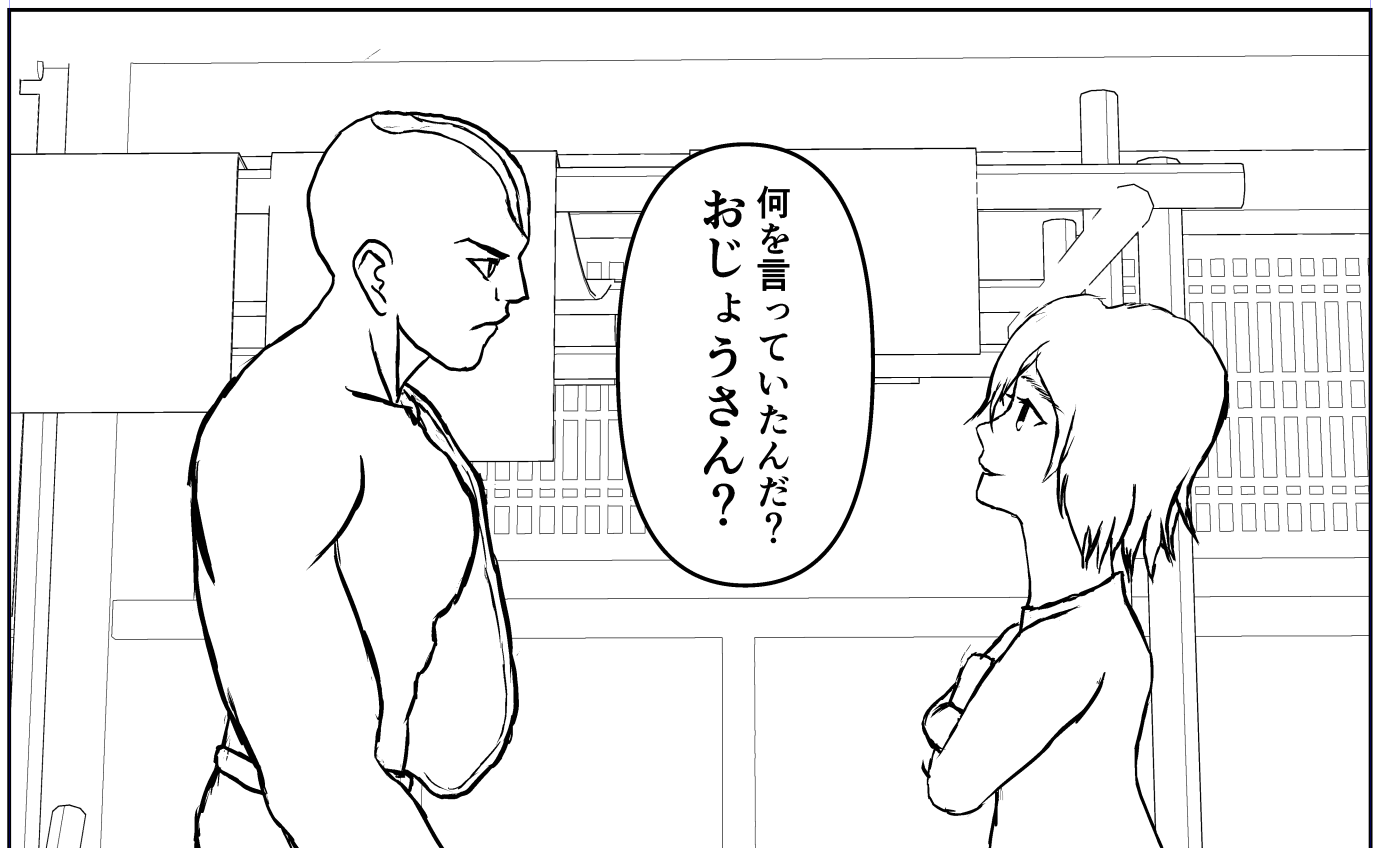
不機嫌な人？
使えるかもしれない



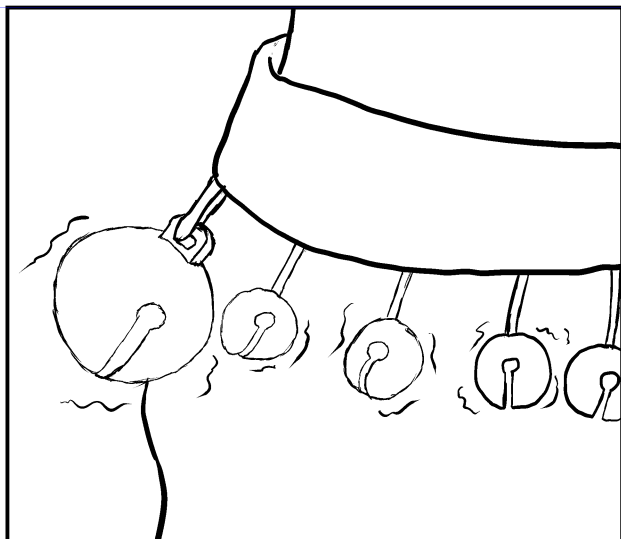
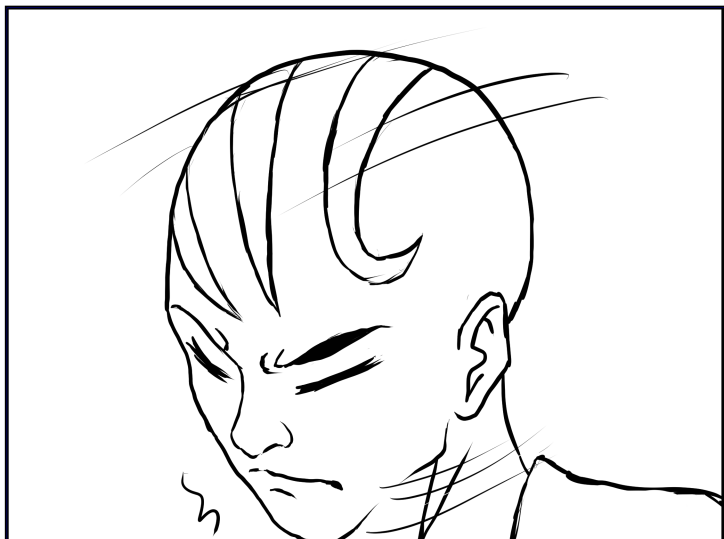
うるさい
おばさん

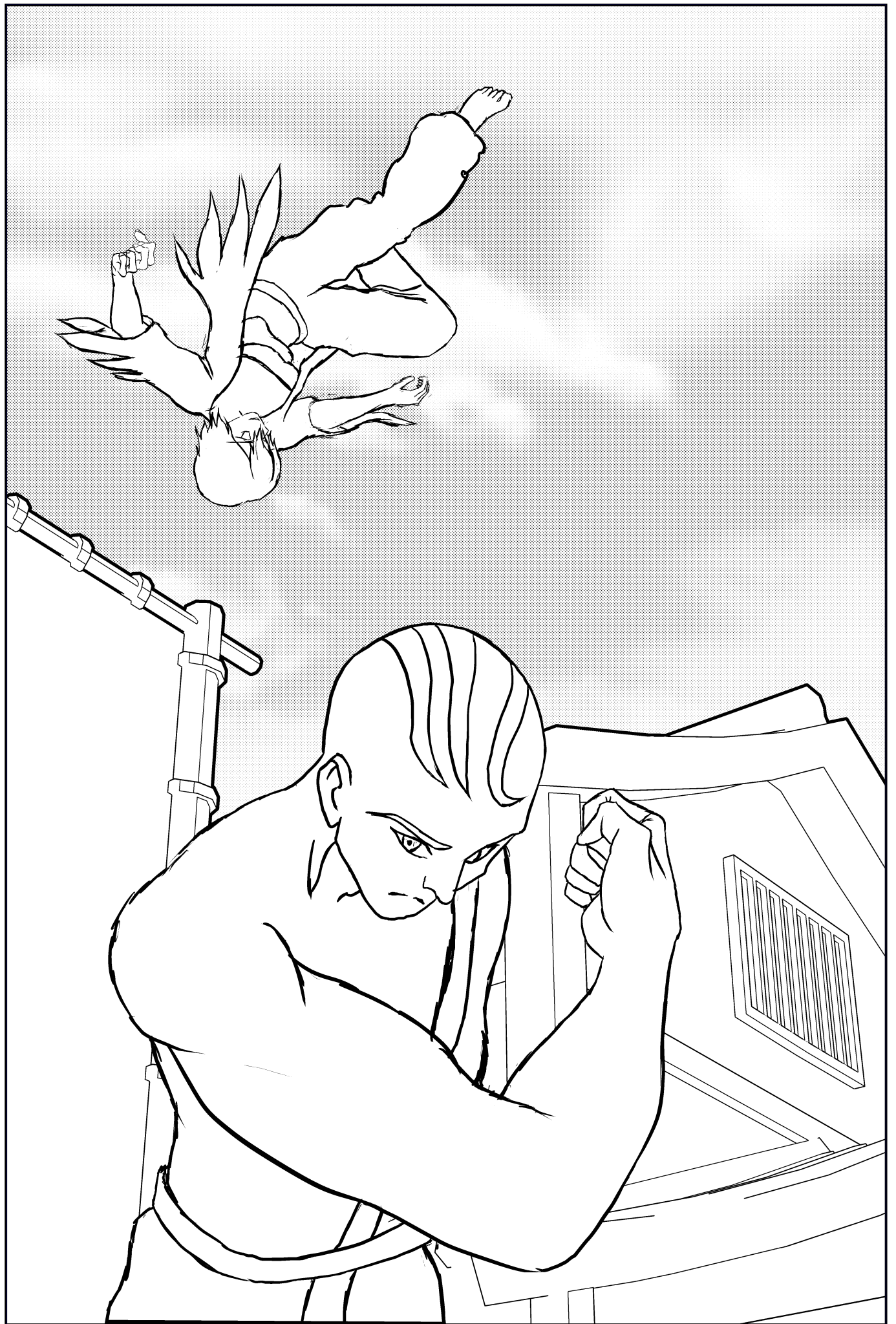


こんな些細なことで、
道端で怒鳴って
はいけない
そうだろう？



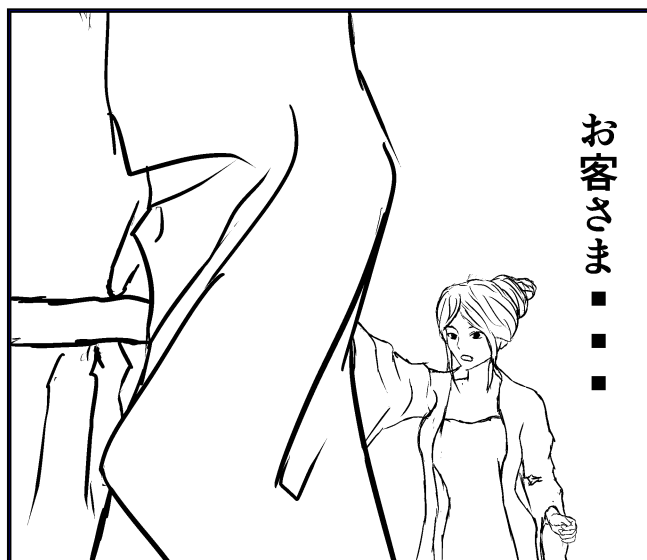
何を言っていたんだ？
おじょうさん？







三流以上？
なぜ私が彼女を
攻撃するのか？



お客さま ■ ■ ■

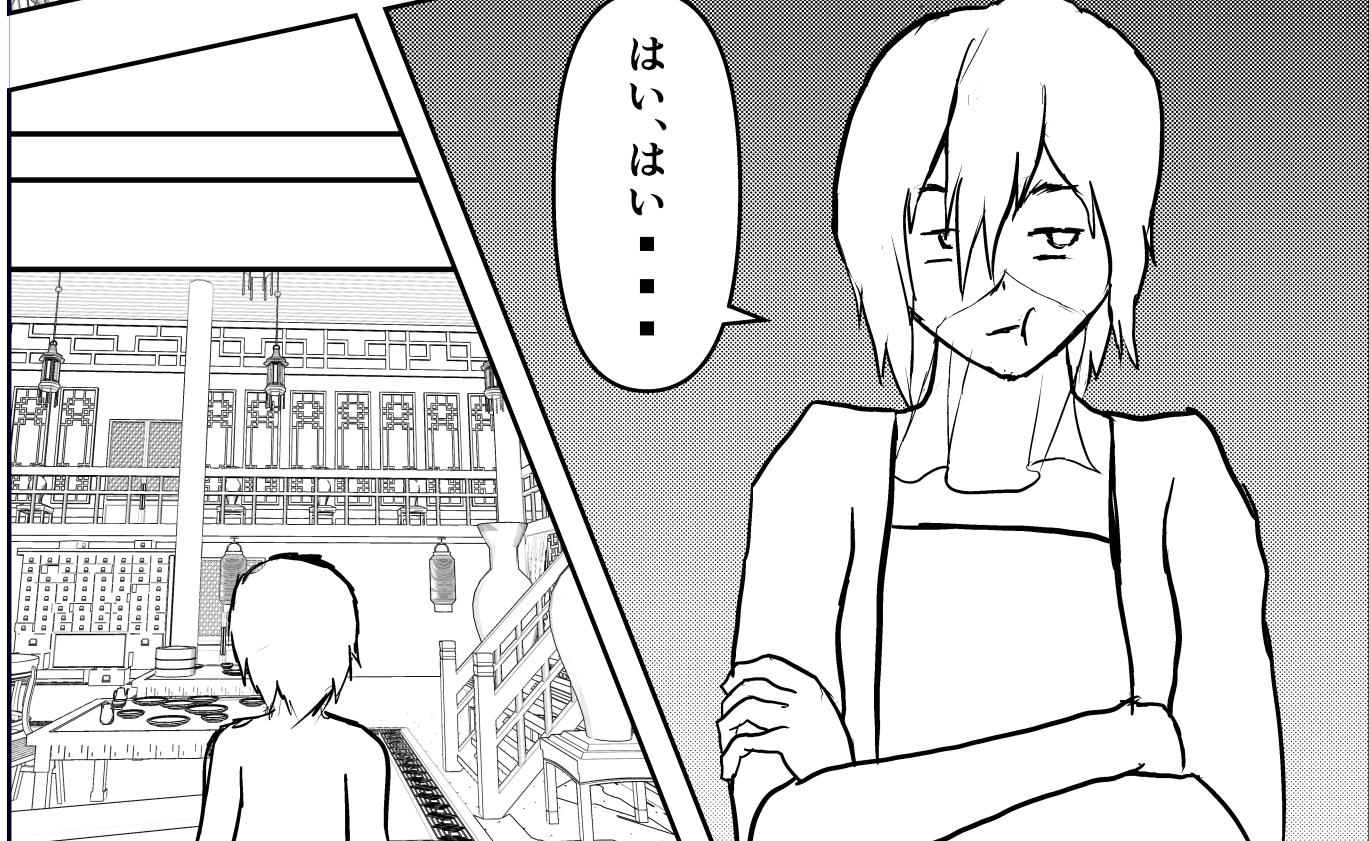


面倒なんだ ■ ■ ■

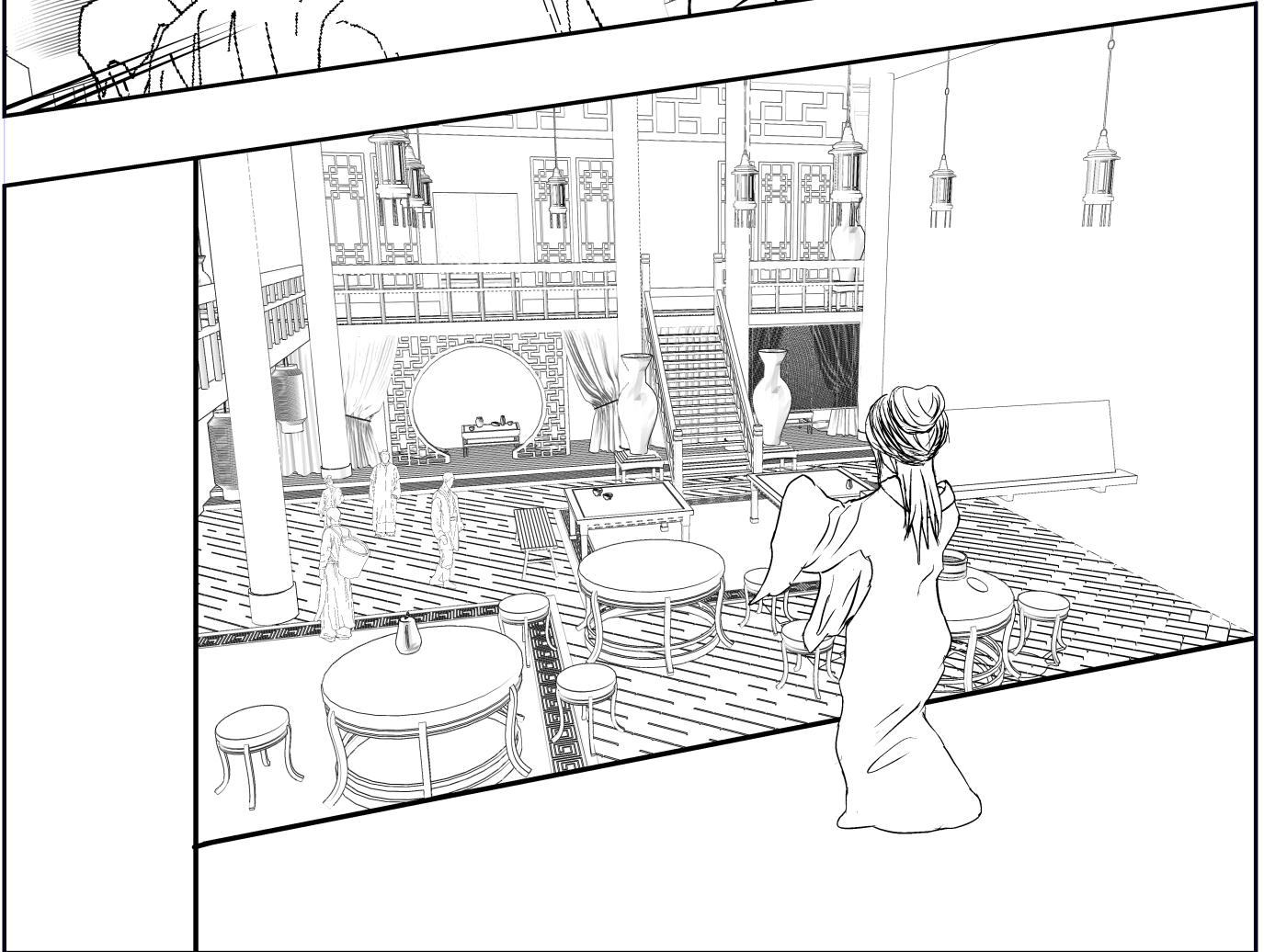
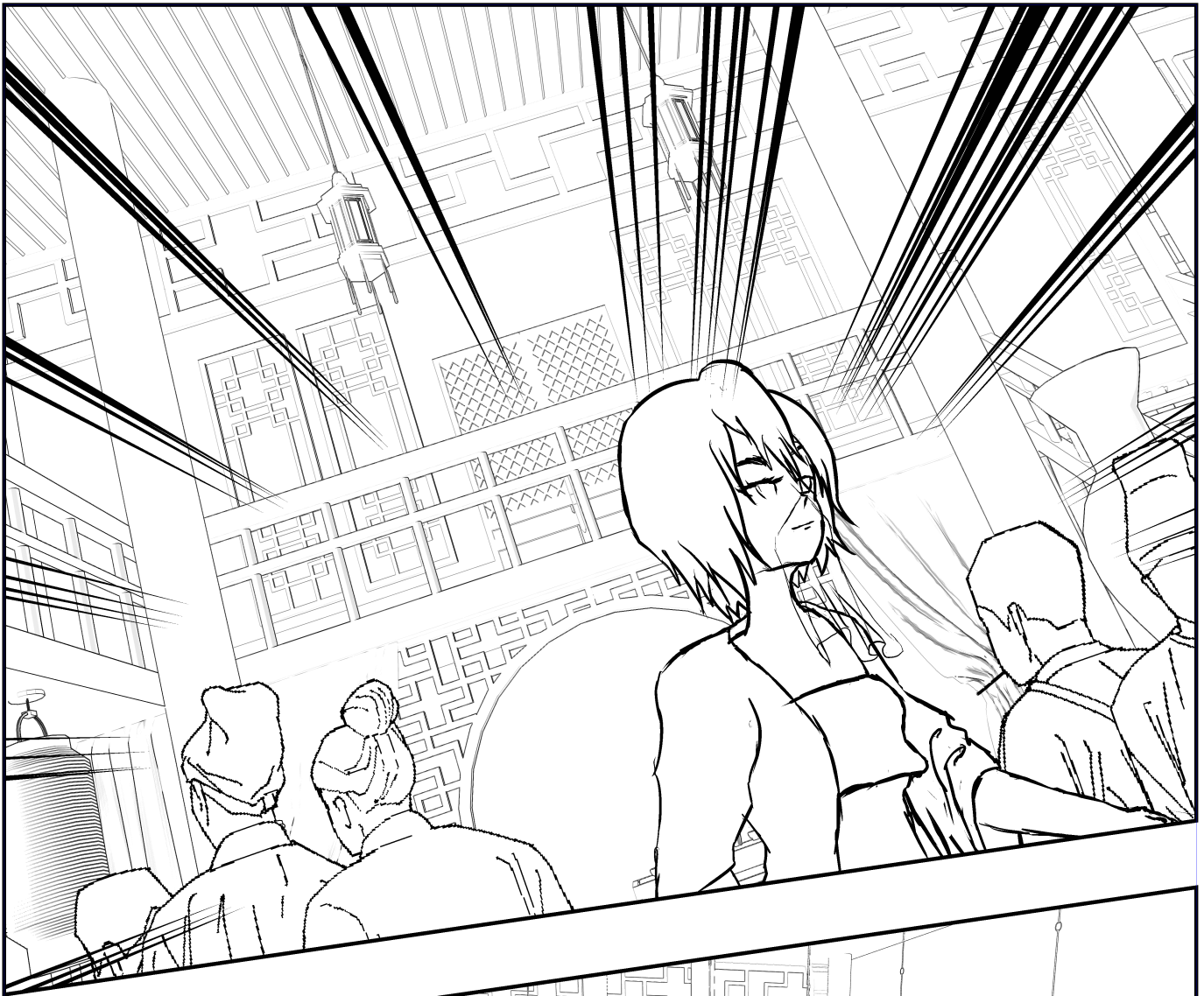


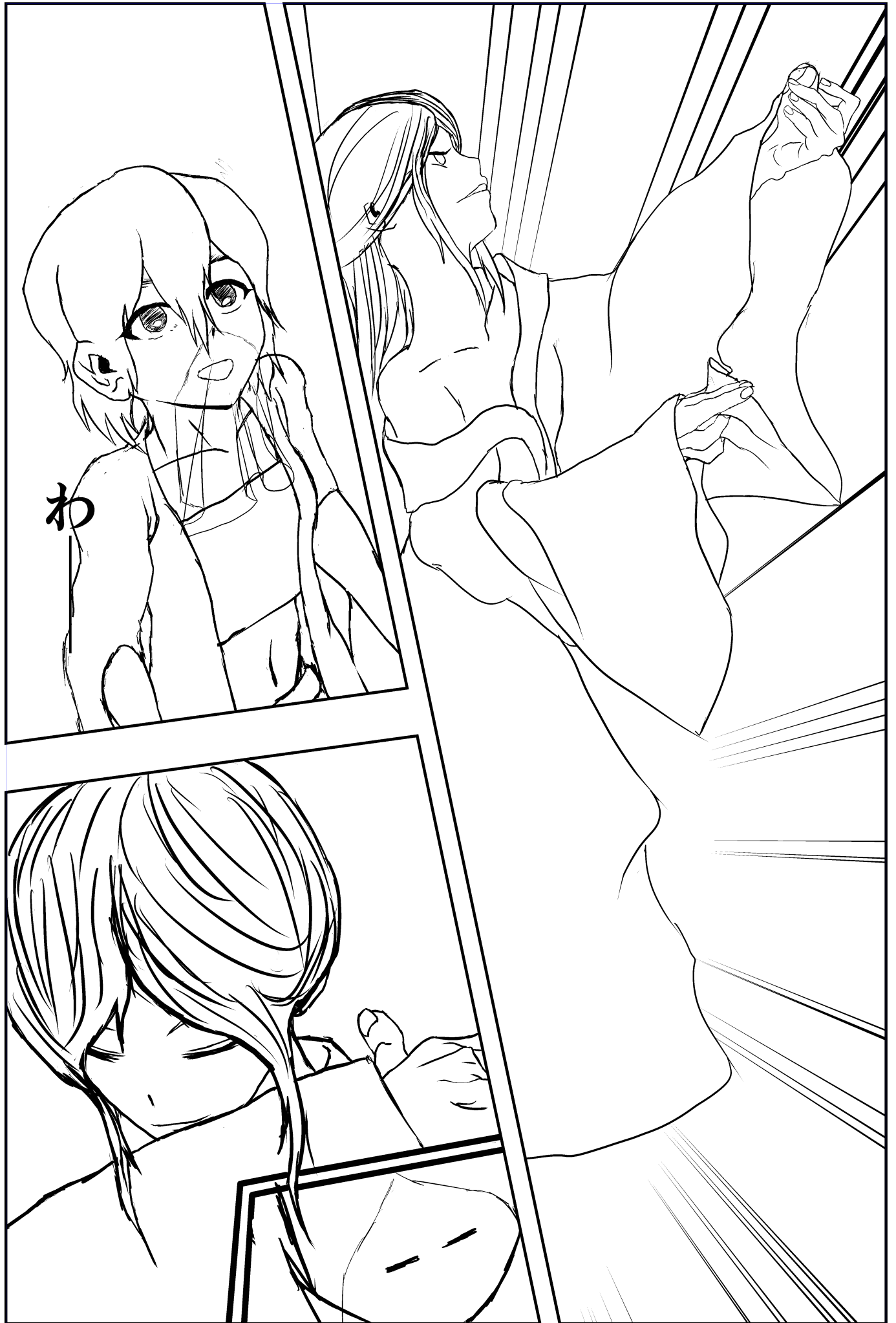
すみません
お客さん ■ ■ ■

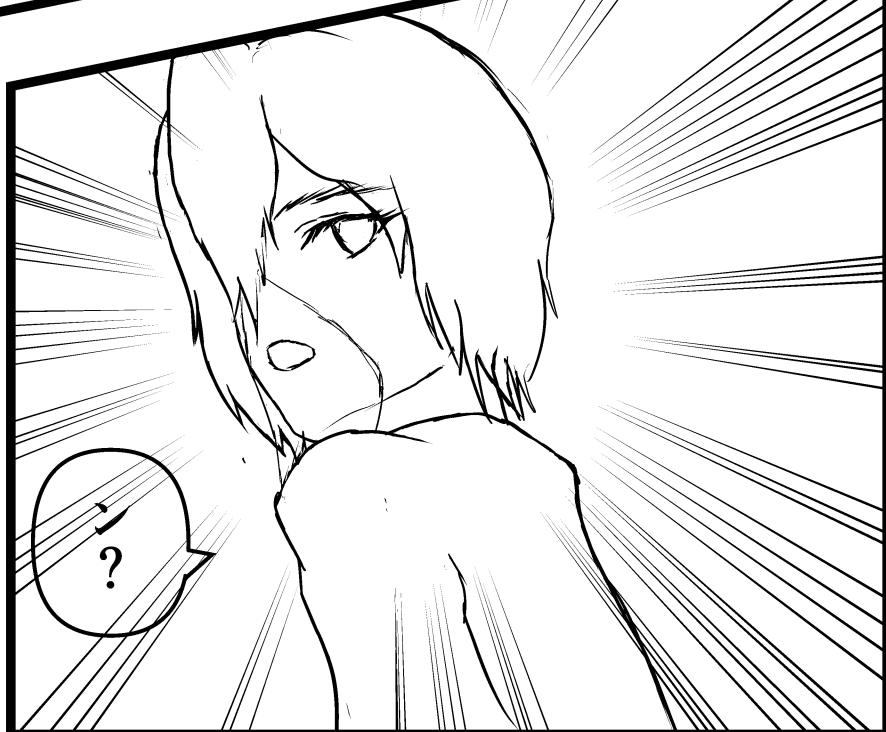
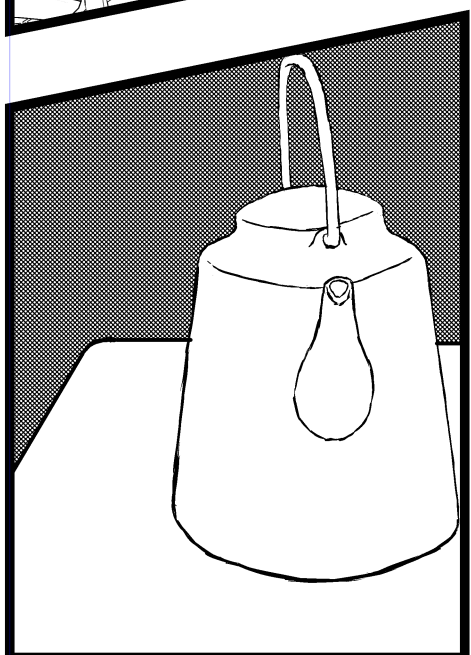
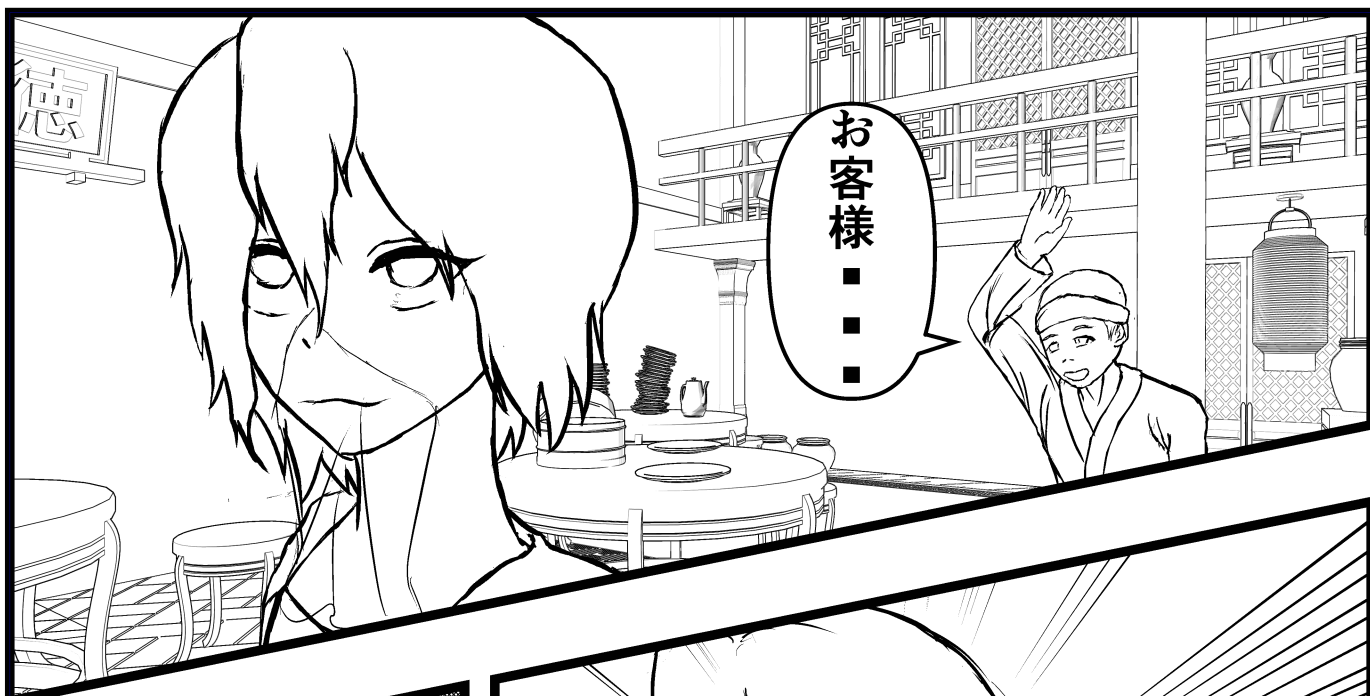
入りたければ、
トラブルに
巻き込まれない
ことだ。

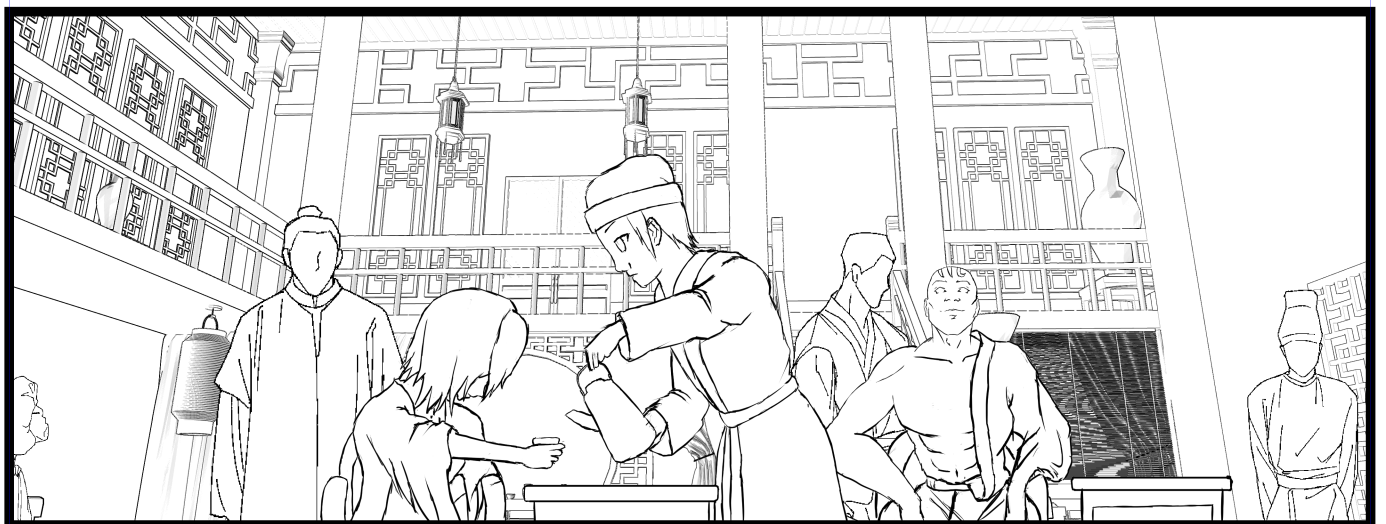
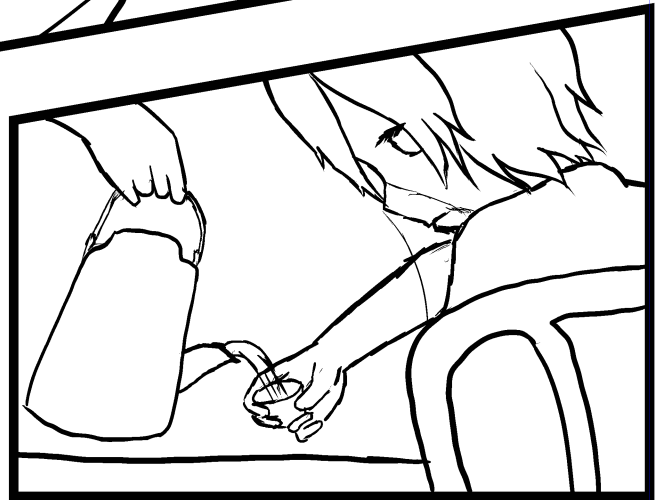
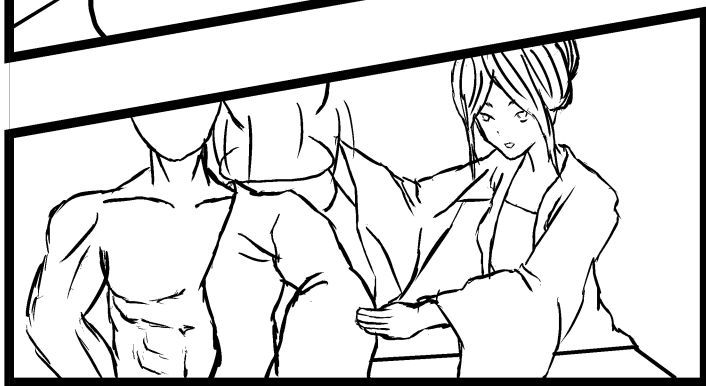


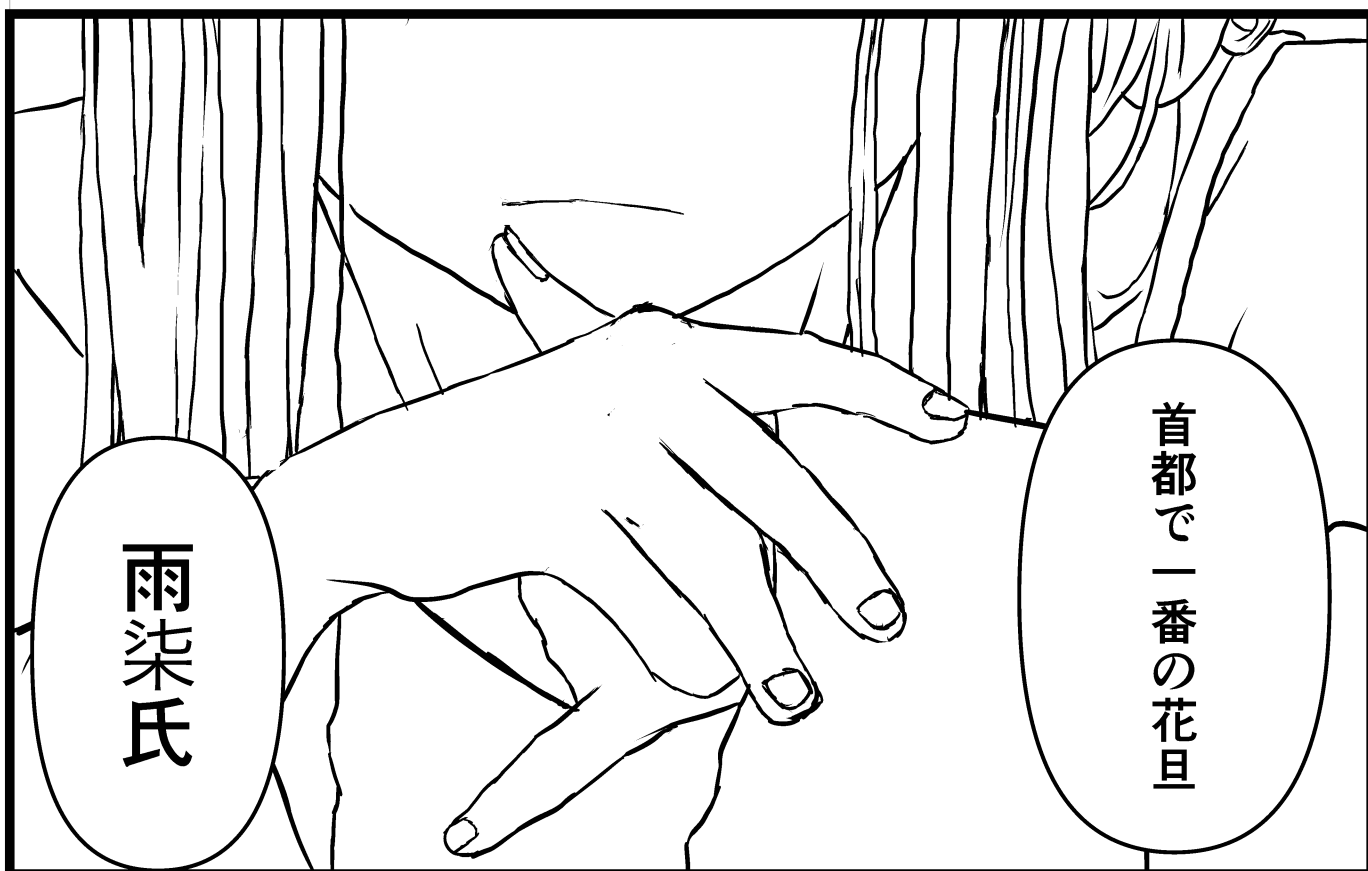
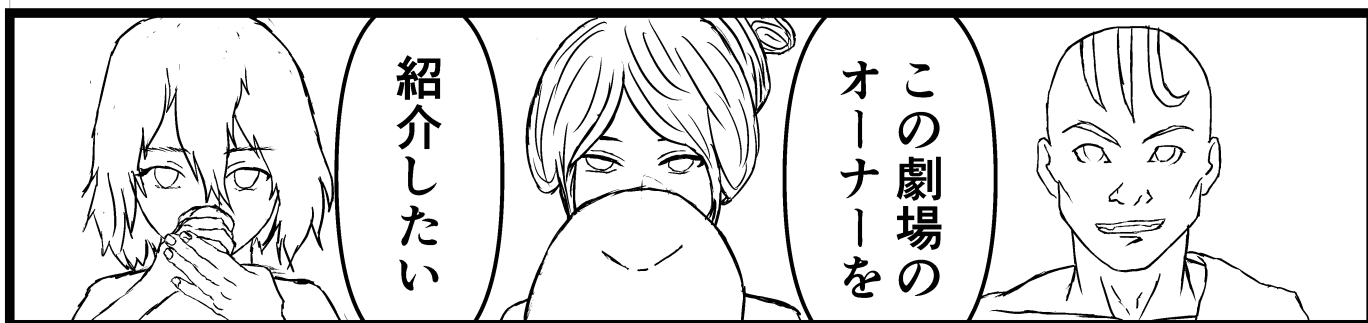
はいはい ■ ■ ■





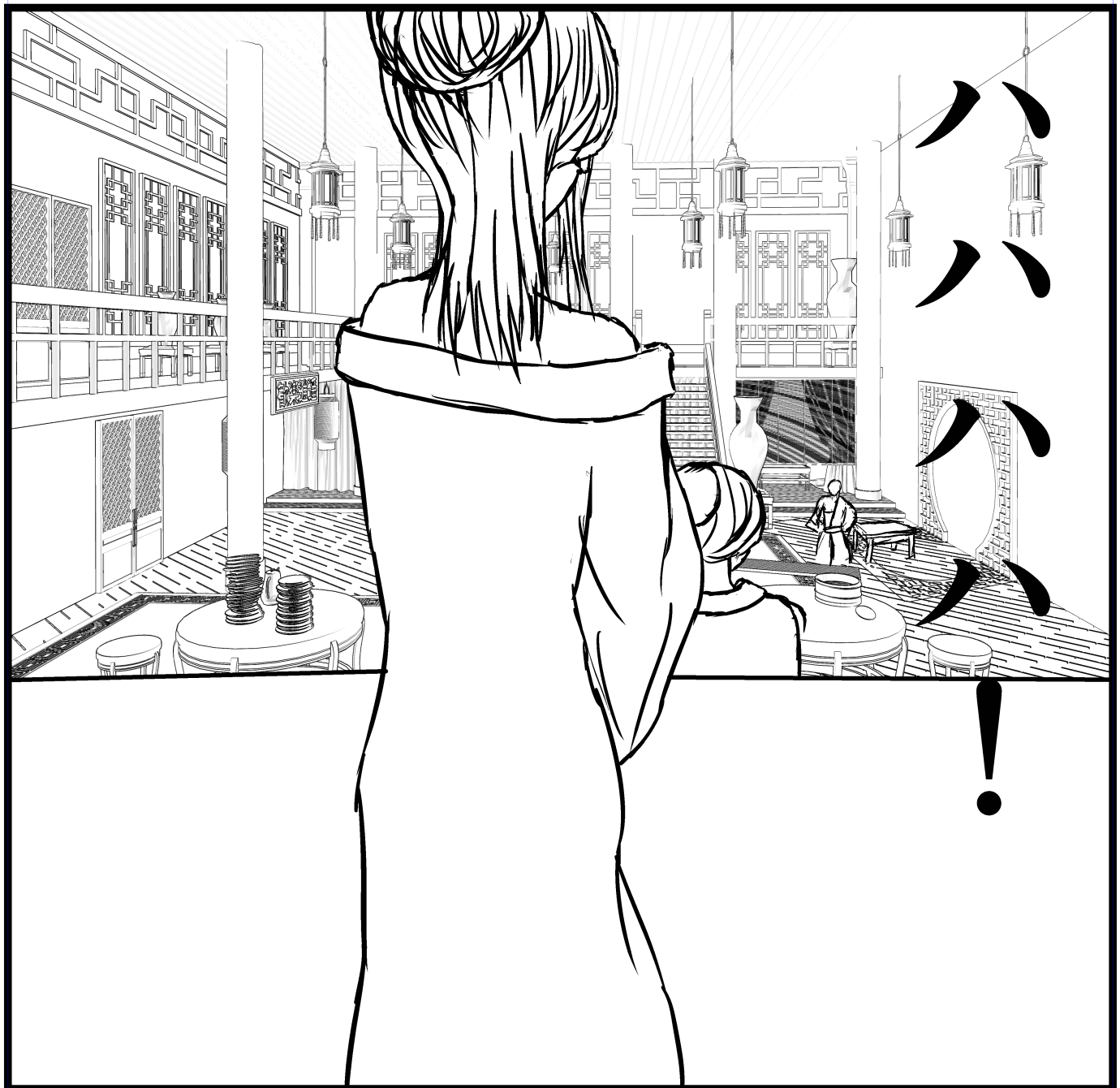


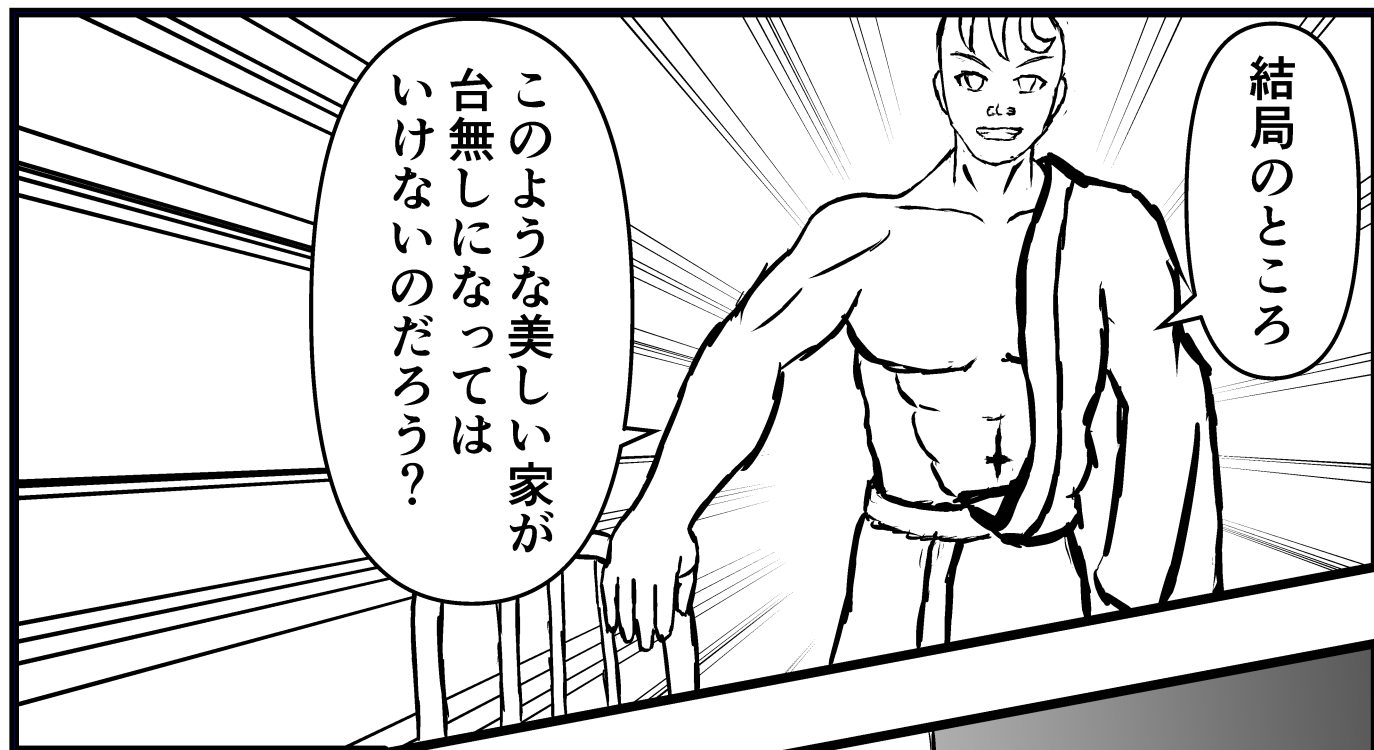






もし聴きたいプレーがあれば教えてください





結局のところ

このような美しい家が
台無しになっては
いけないのだろうか？



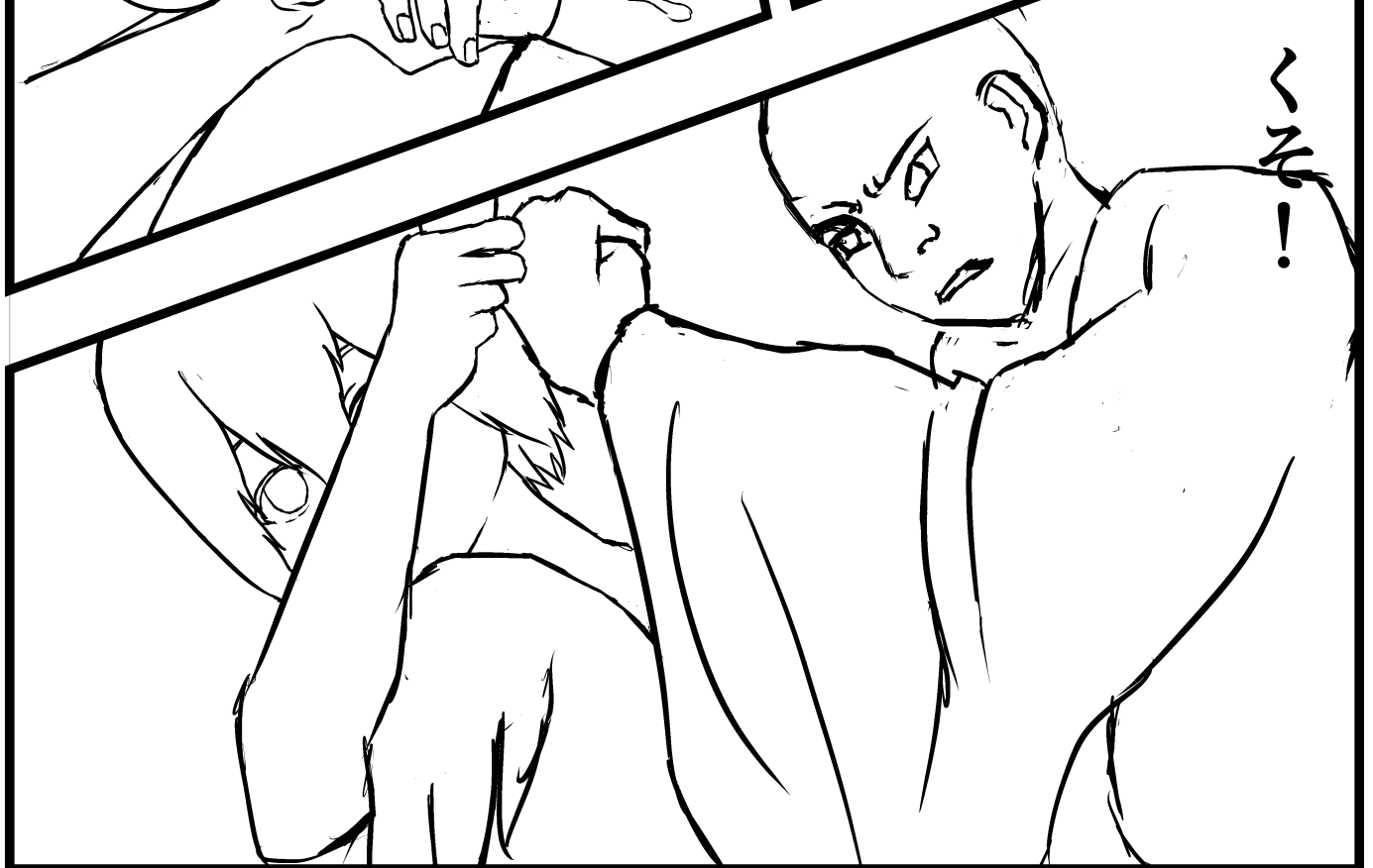
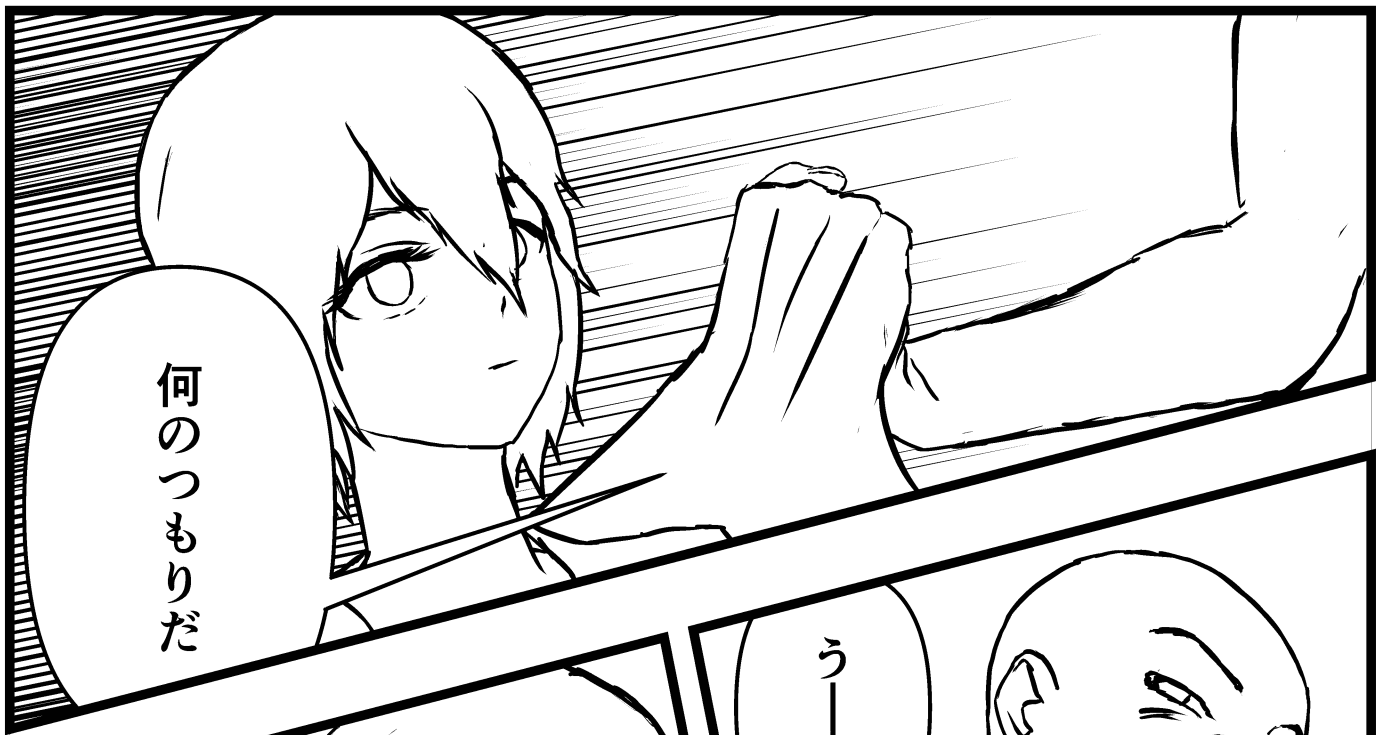
こわいね

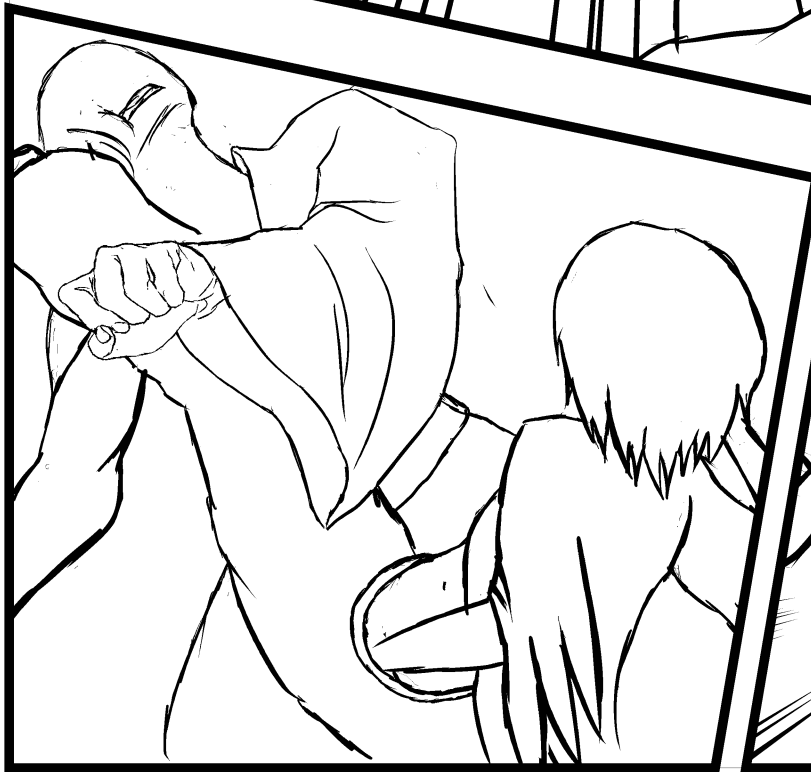
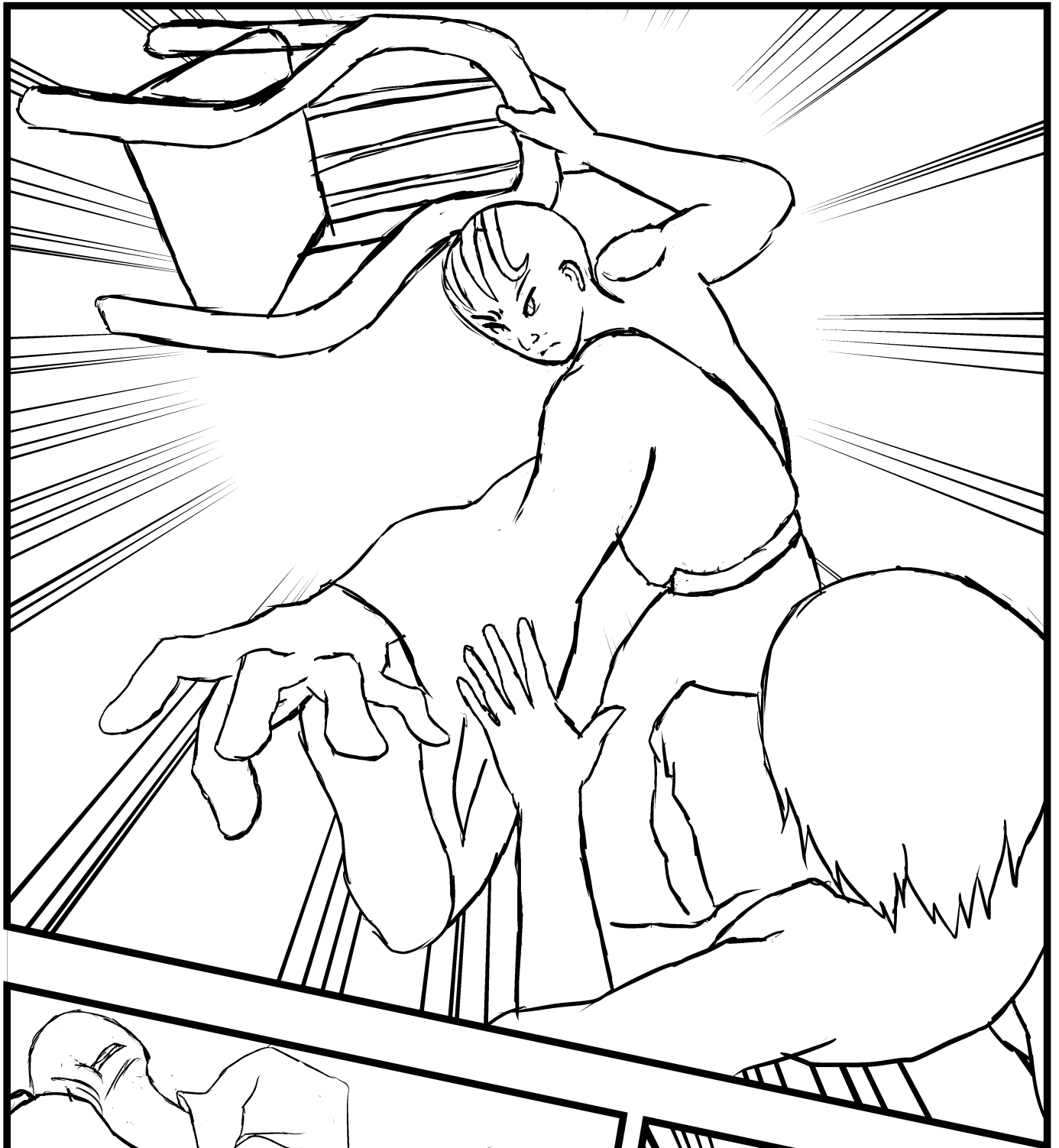


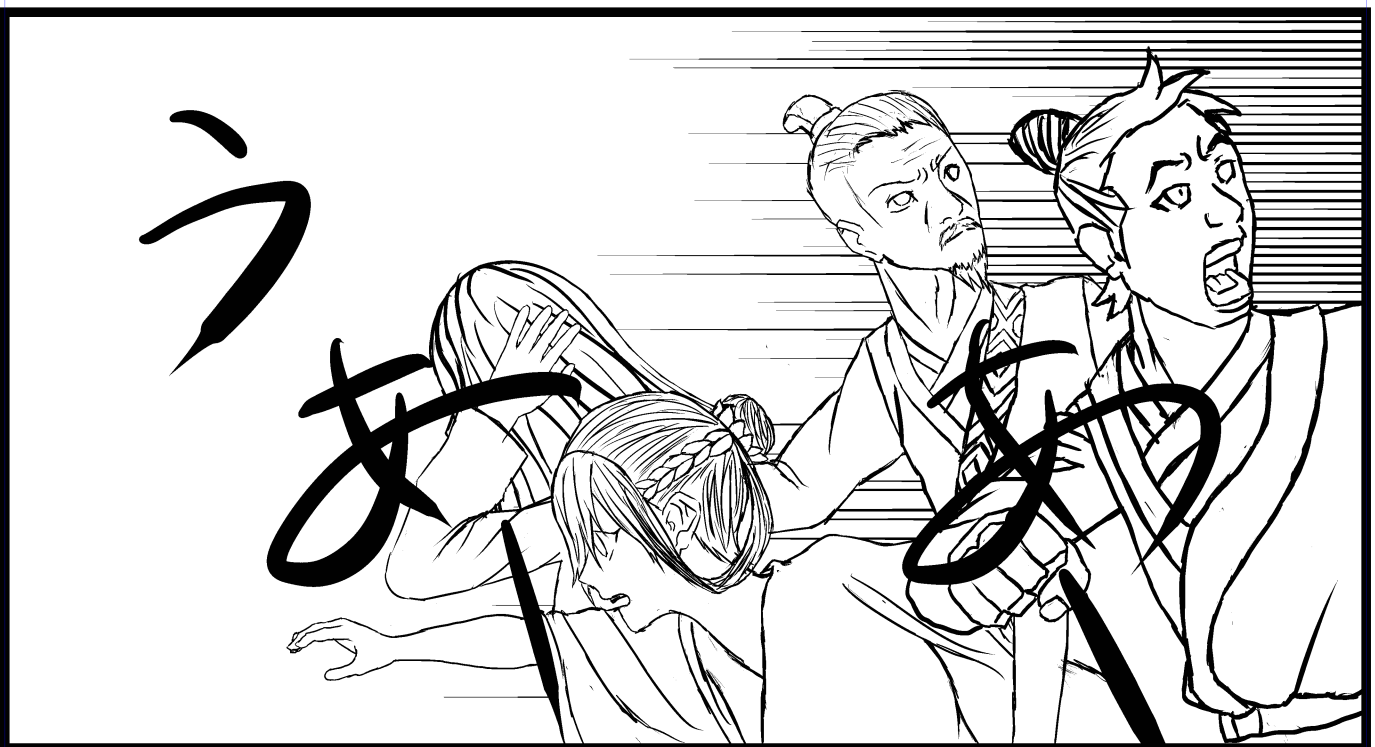
これほど注目される
ことをしている。

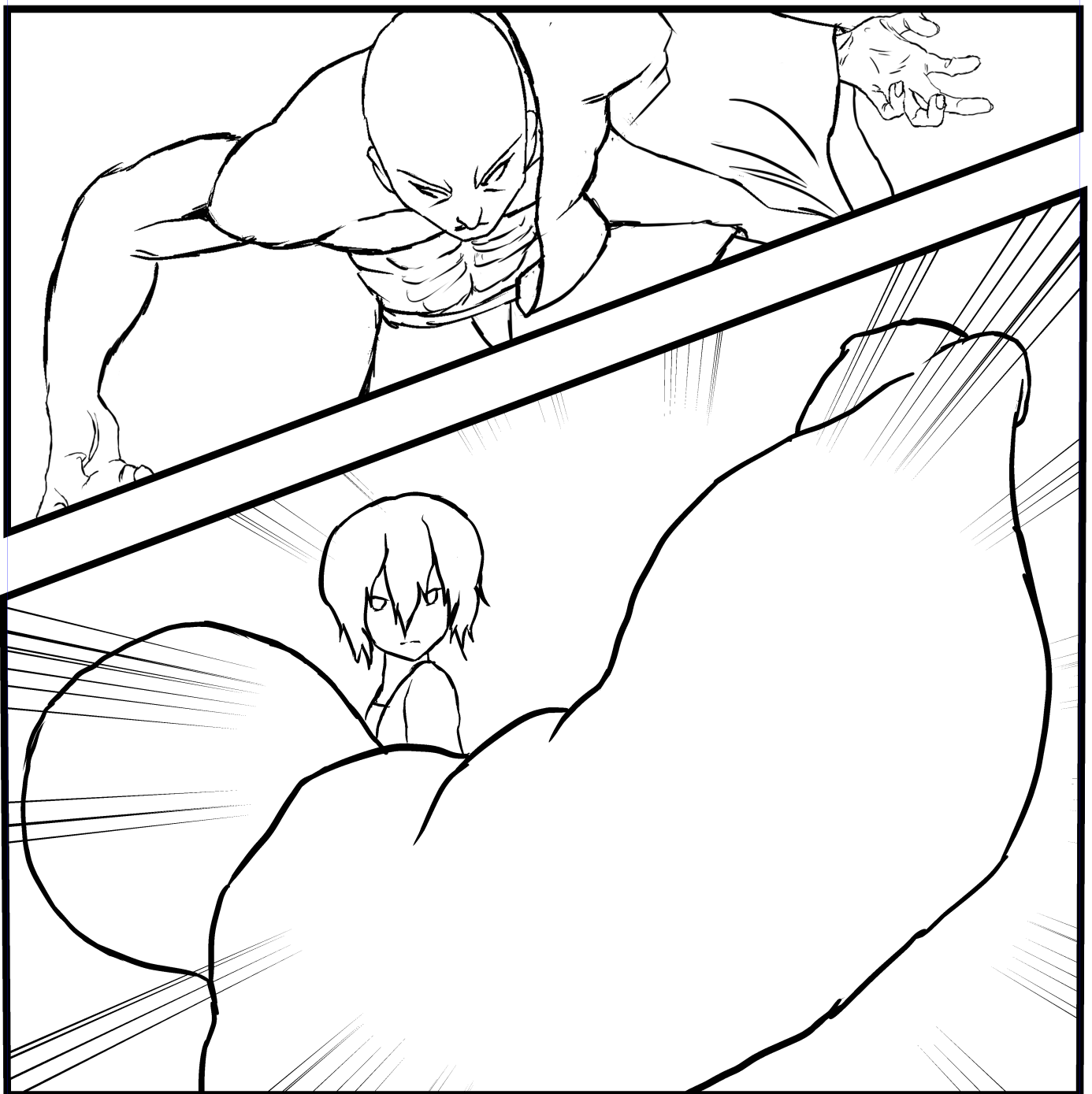
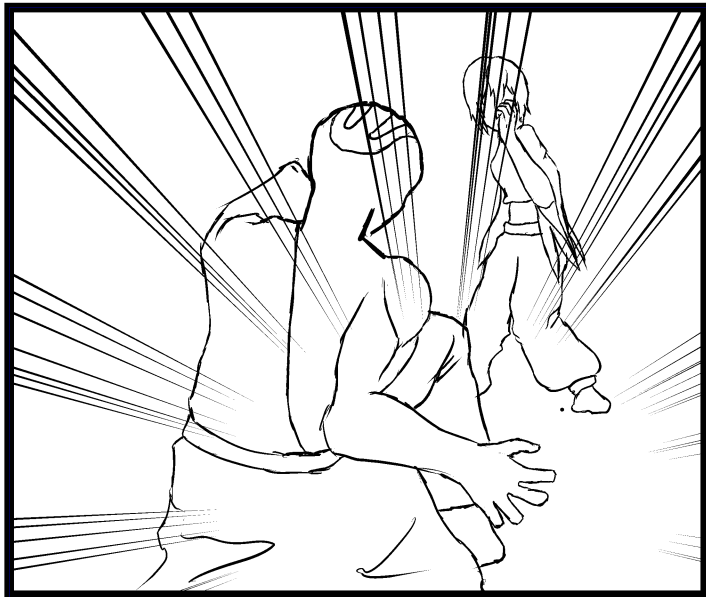


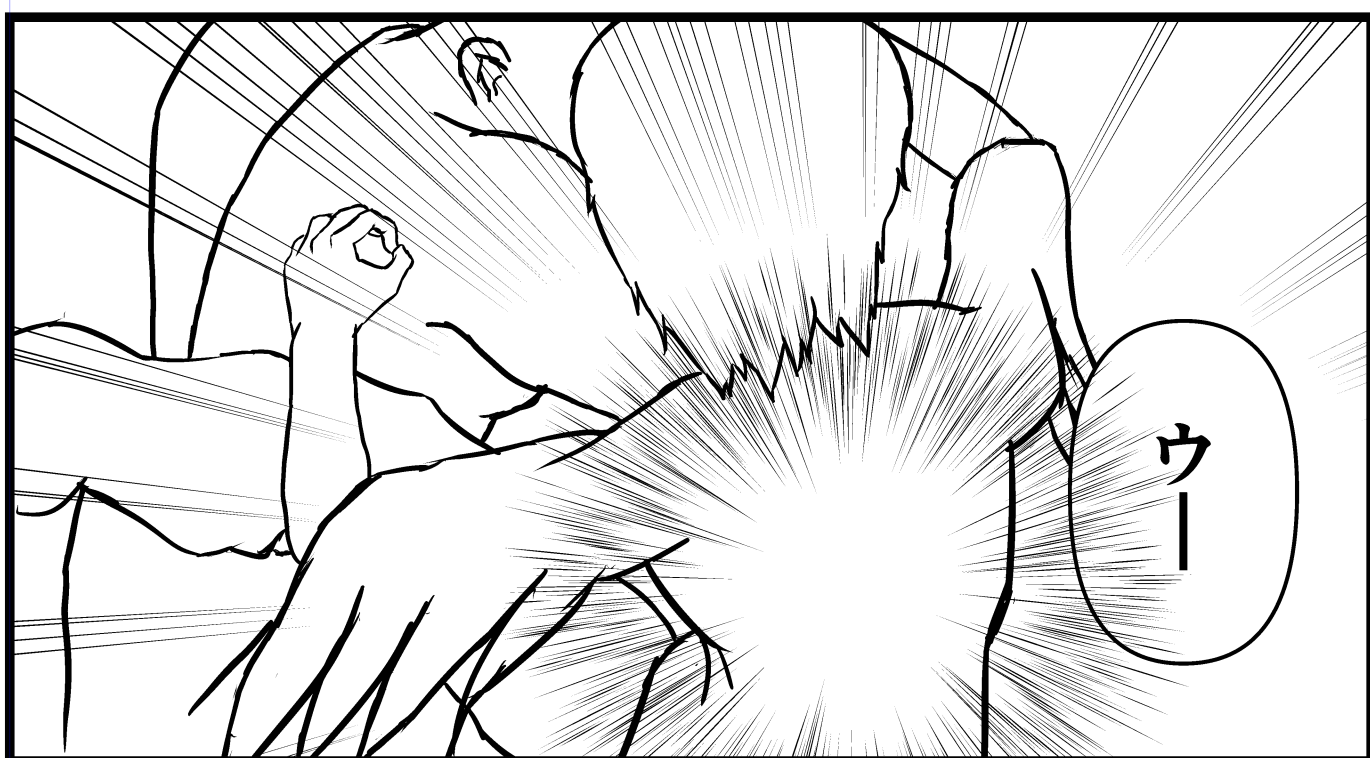
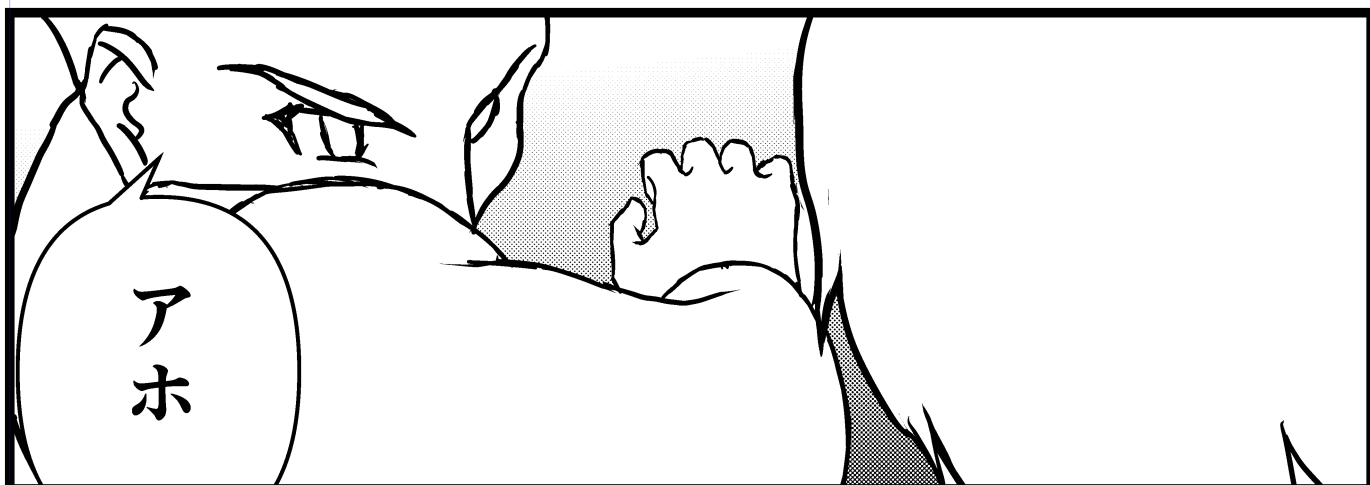
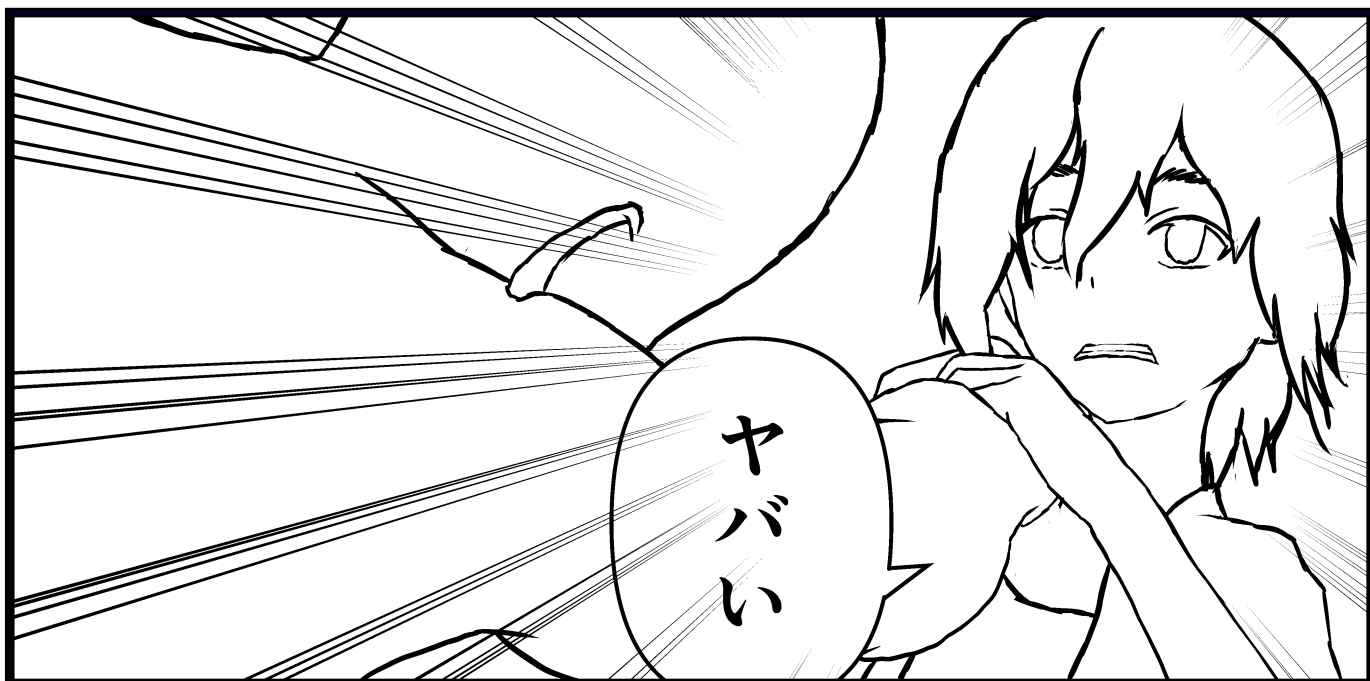
命懸けで走って
いるのは明らかだが

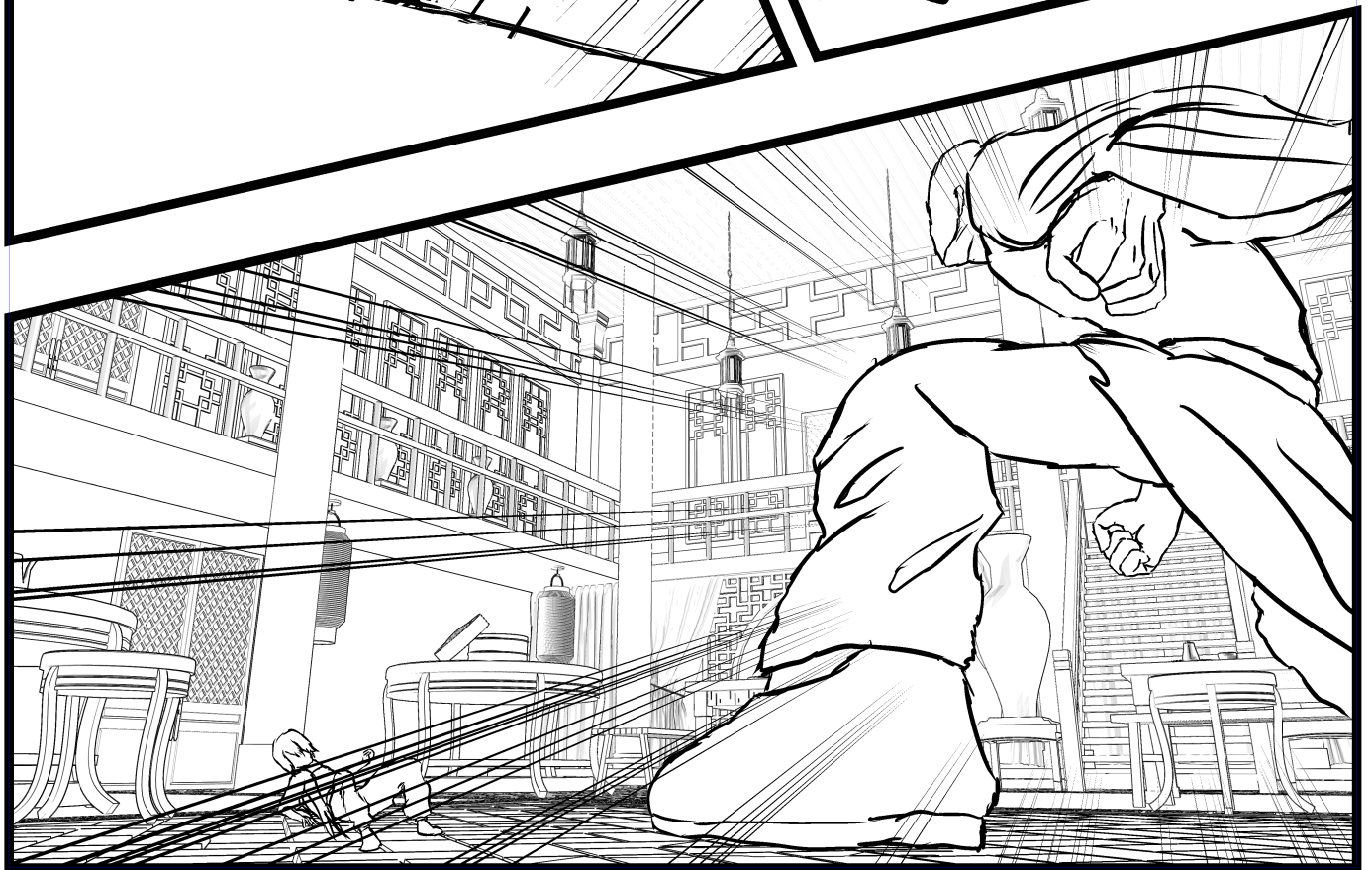
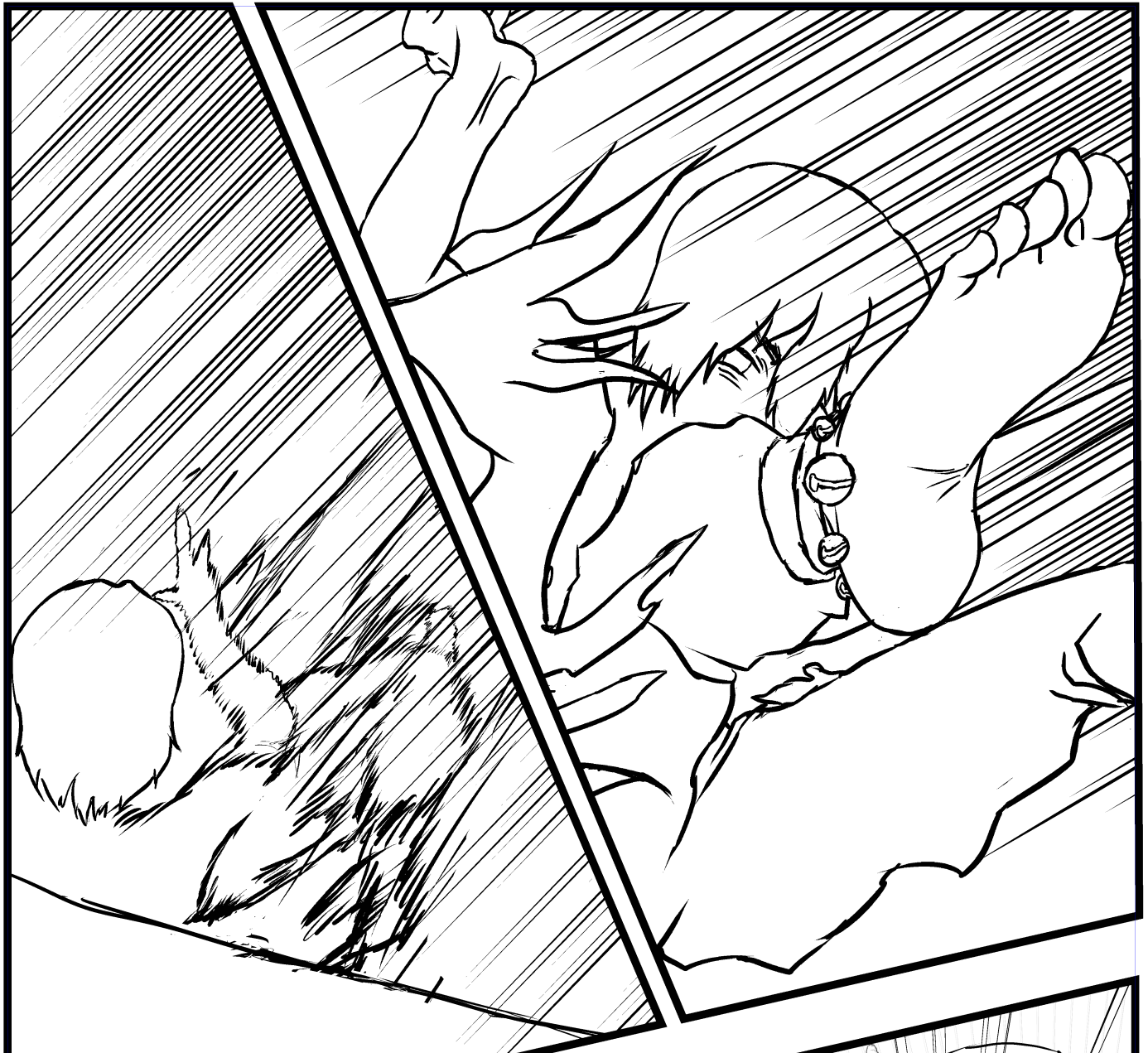


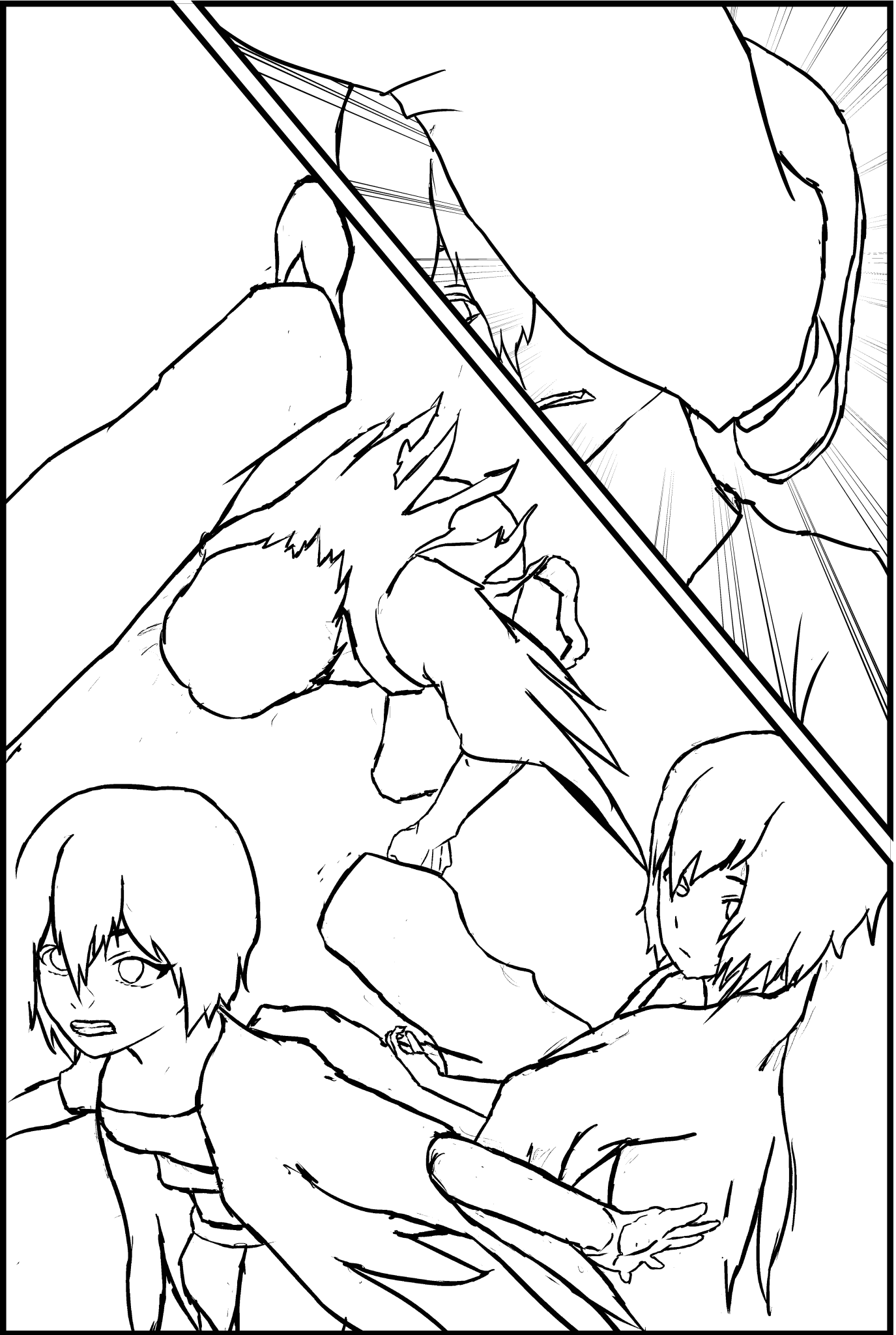


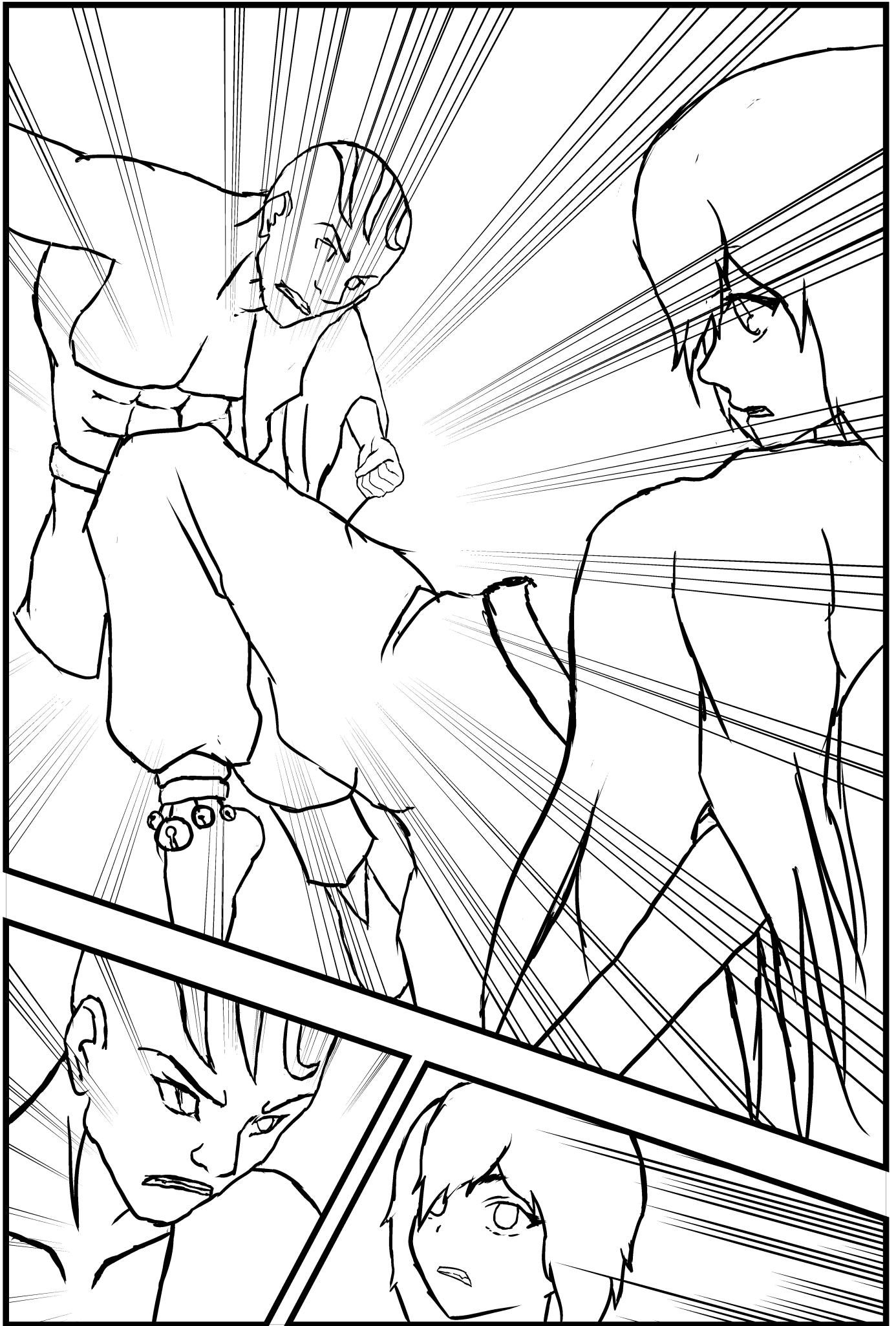




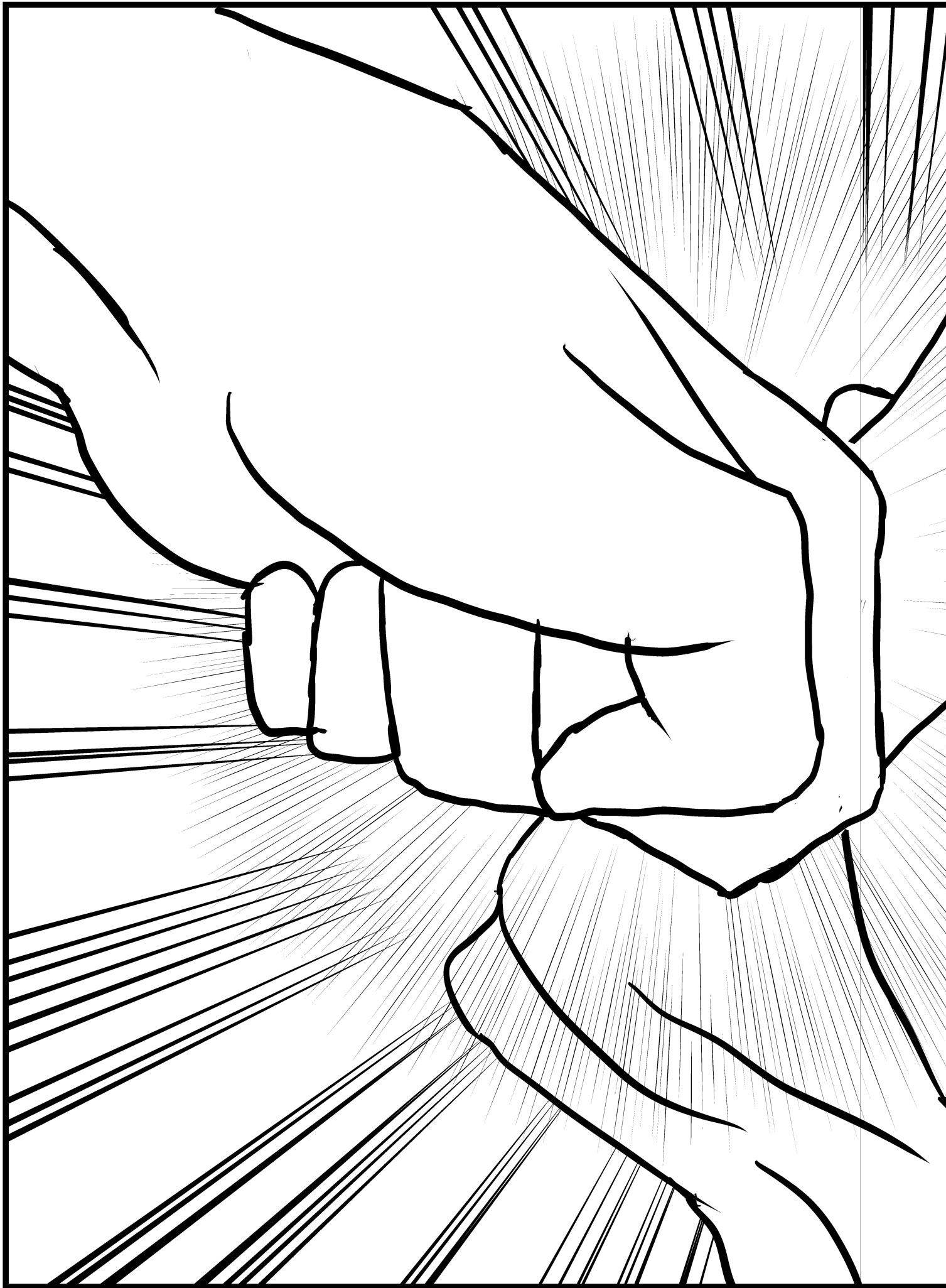


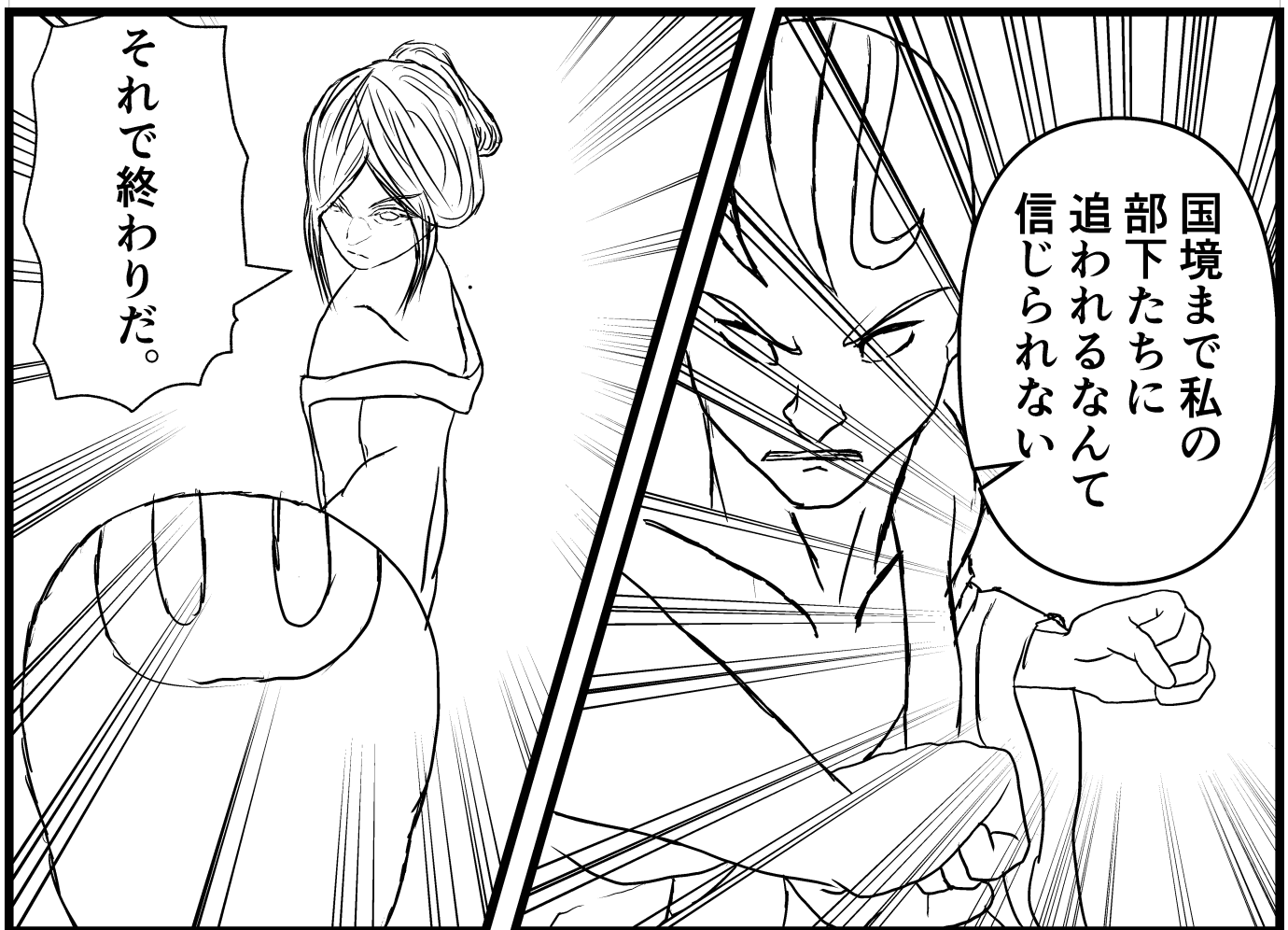
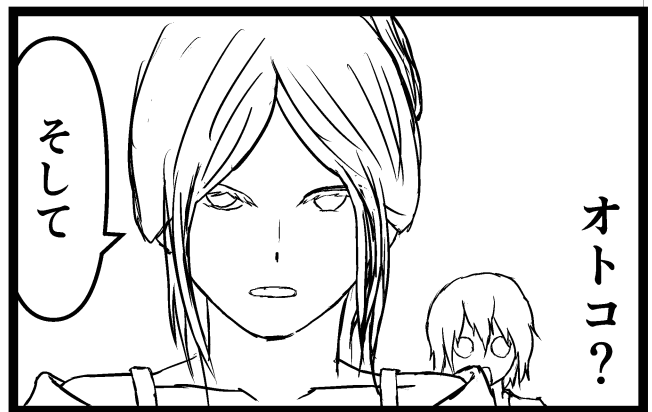


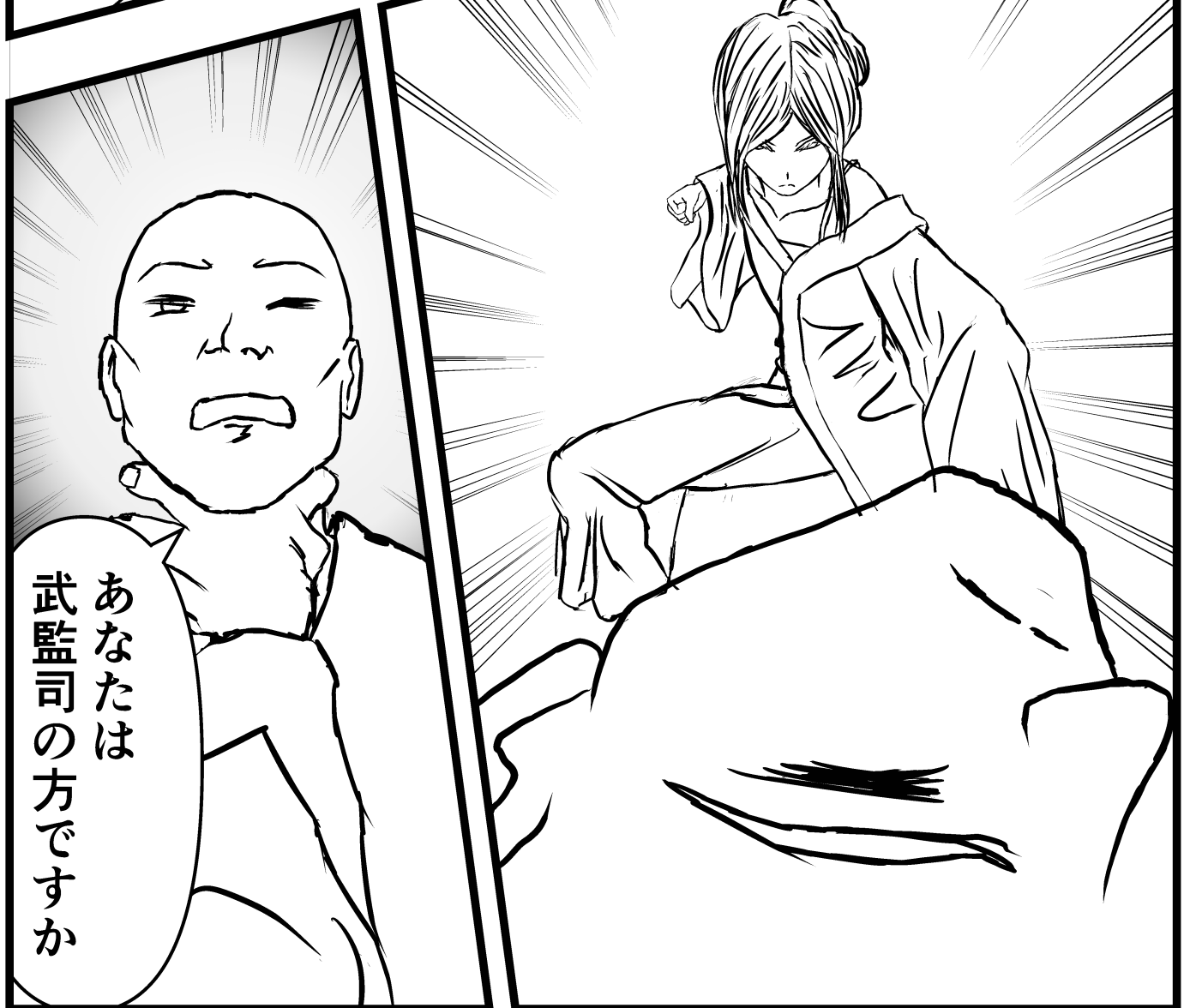
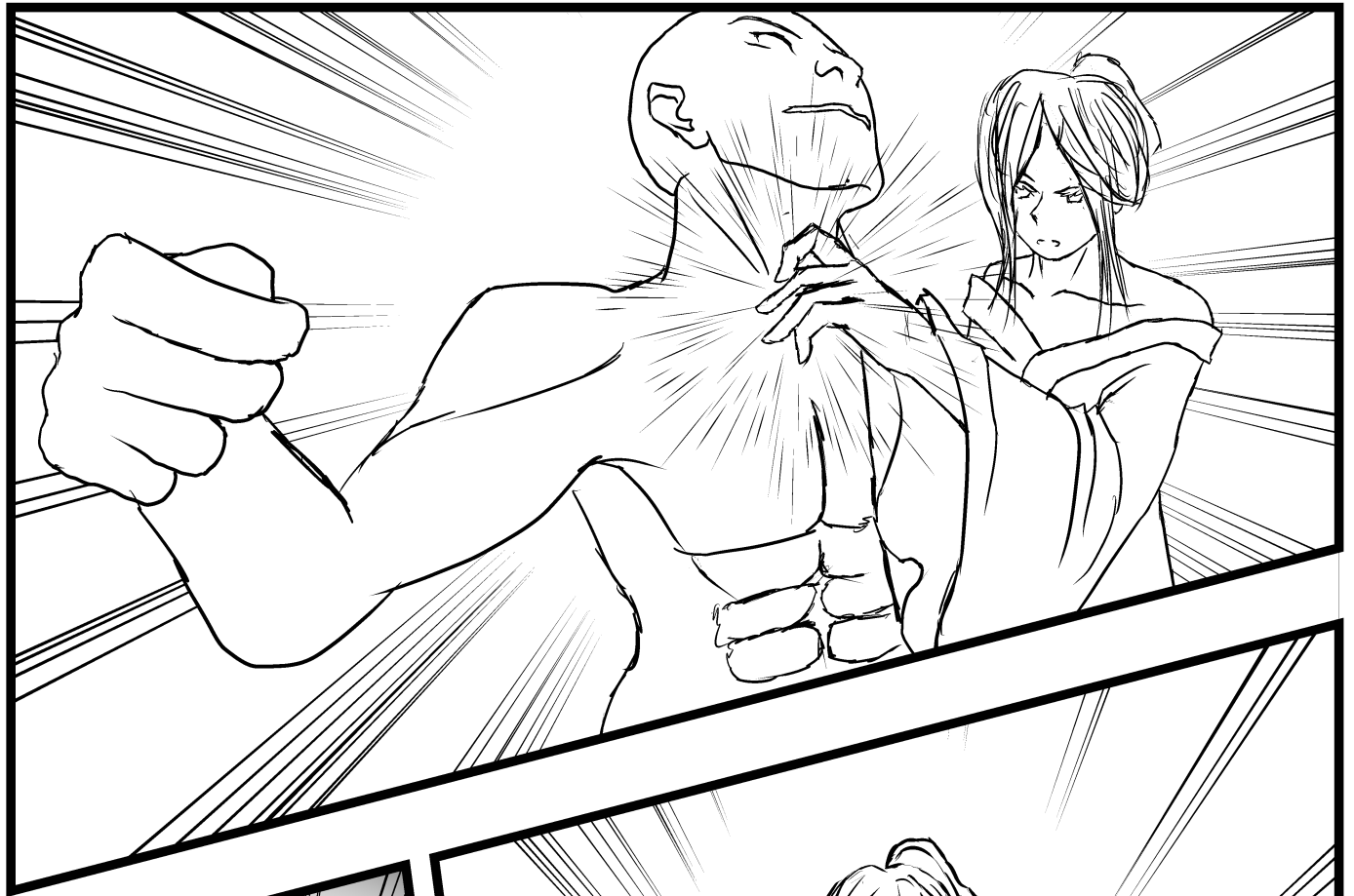


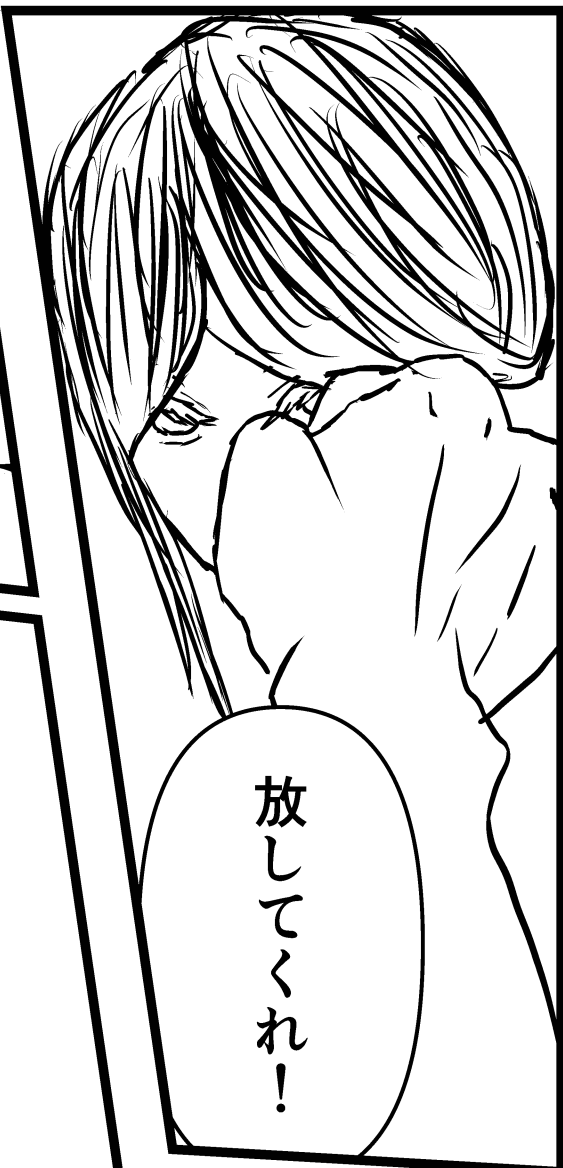
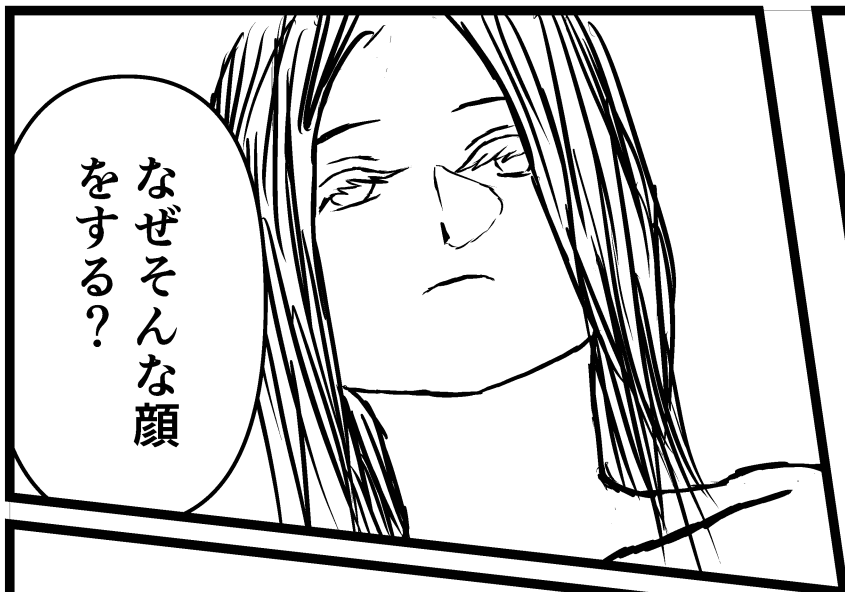


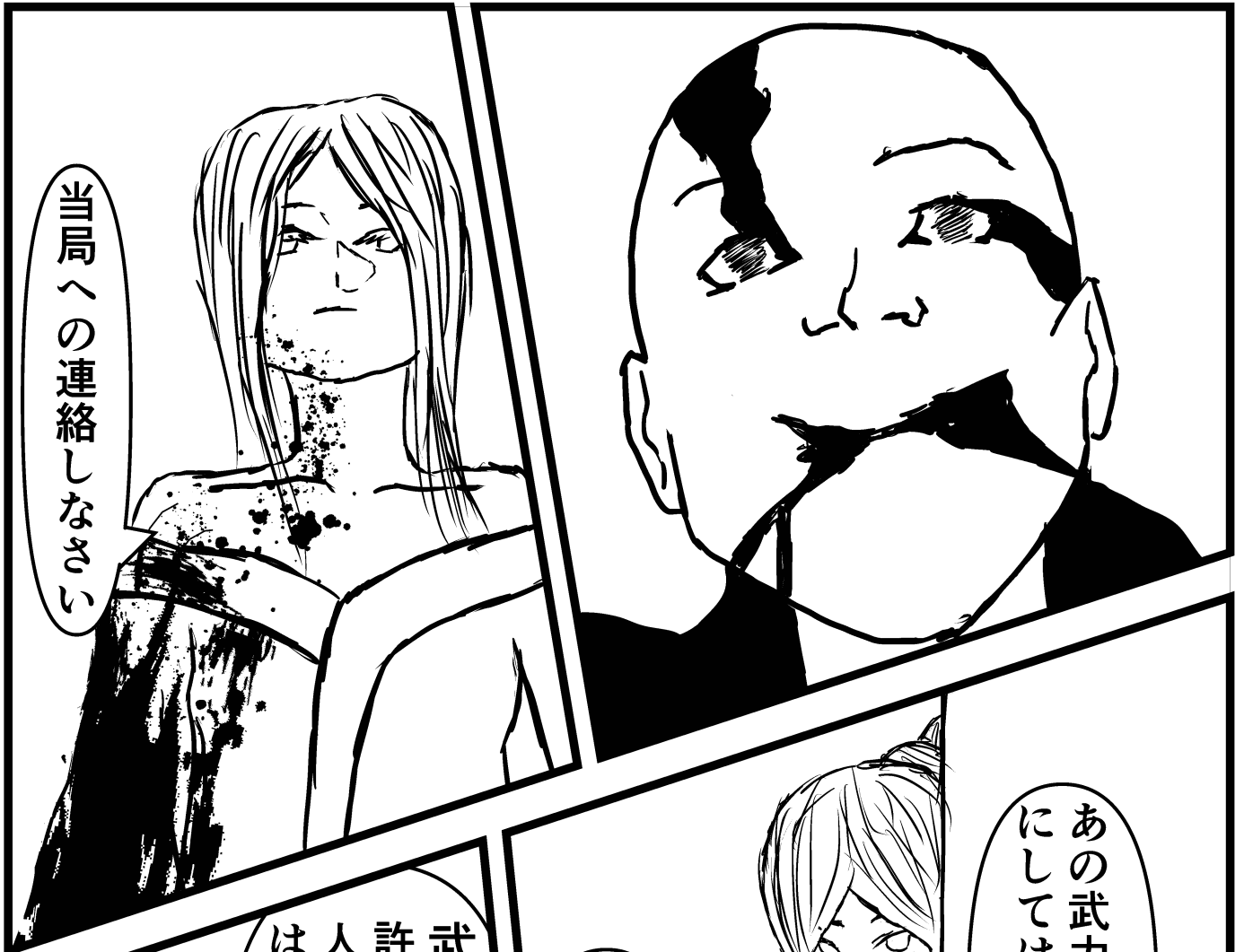




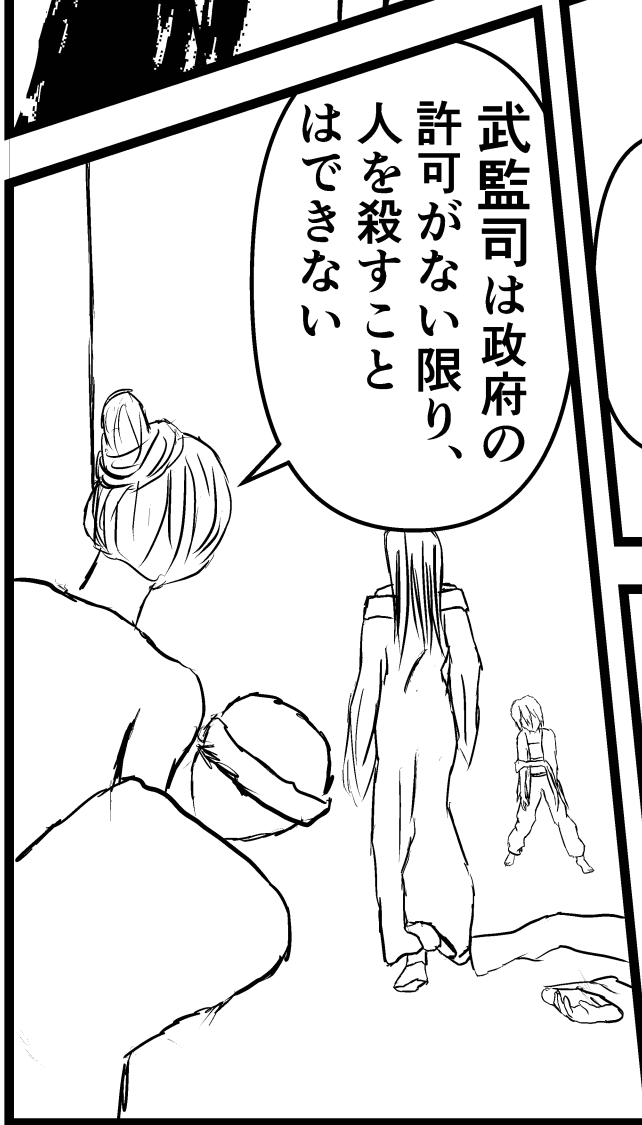








当局への連絡しなさい

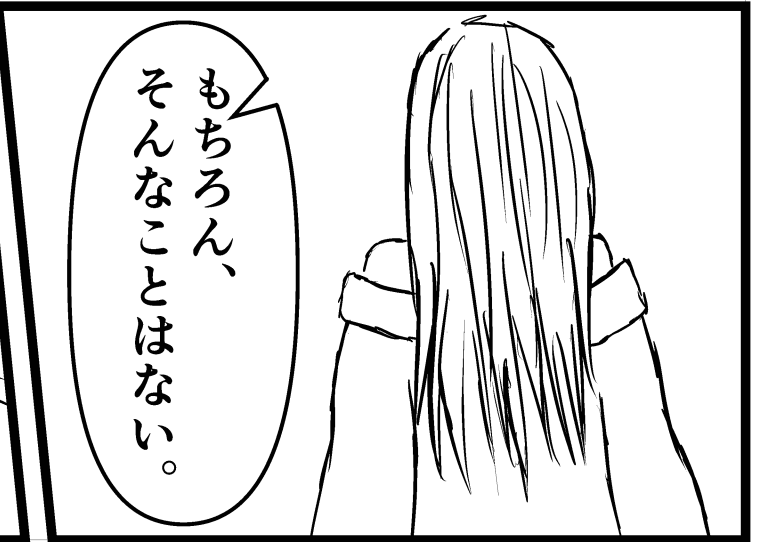


武監司は政府の許可がない限り、人を殺すことはできない



あの武力局の厄介者にしては悪くない

死んだ？



もちろん、そんなことはない。

